

カラー漫画 50P超



女騎士×芋虫

種付け・妊娠・出産・子育て 戦記 II

前回までのあらすじ

村人からの依頼で害獣を駆除しに洞窟を訪れた騎士ヘレナ  
しかしその洞窟は害獣ではなく『害虫』の巣穴だった！

蟲の毒によって身体の自由を奪われ  
巨大な芋虫に種付けされ蟲の仔を妊娠、出産してしまう

蟲である我が子に情が湧いてしまったヘレナは  
逃げるどころか母乳を与え幼虫を育て始めた

『この子が一人前の蟲に育つまで…』

蟲はそんな健気な『母親』を放ってはおかない  
ふたたび交尾清けの毎日が始まった

そしてヘレナの子宮には新たな命が……

ママと一緒に  
ねんねしような

グイ

モニョッ

グイッ

グイッ

グイ

グイッ

グイッ

騎士団にいた頃は命懸けの毎日だった

くそ...!!

ブッ...

なんでこんなところに  
オーワが!?

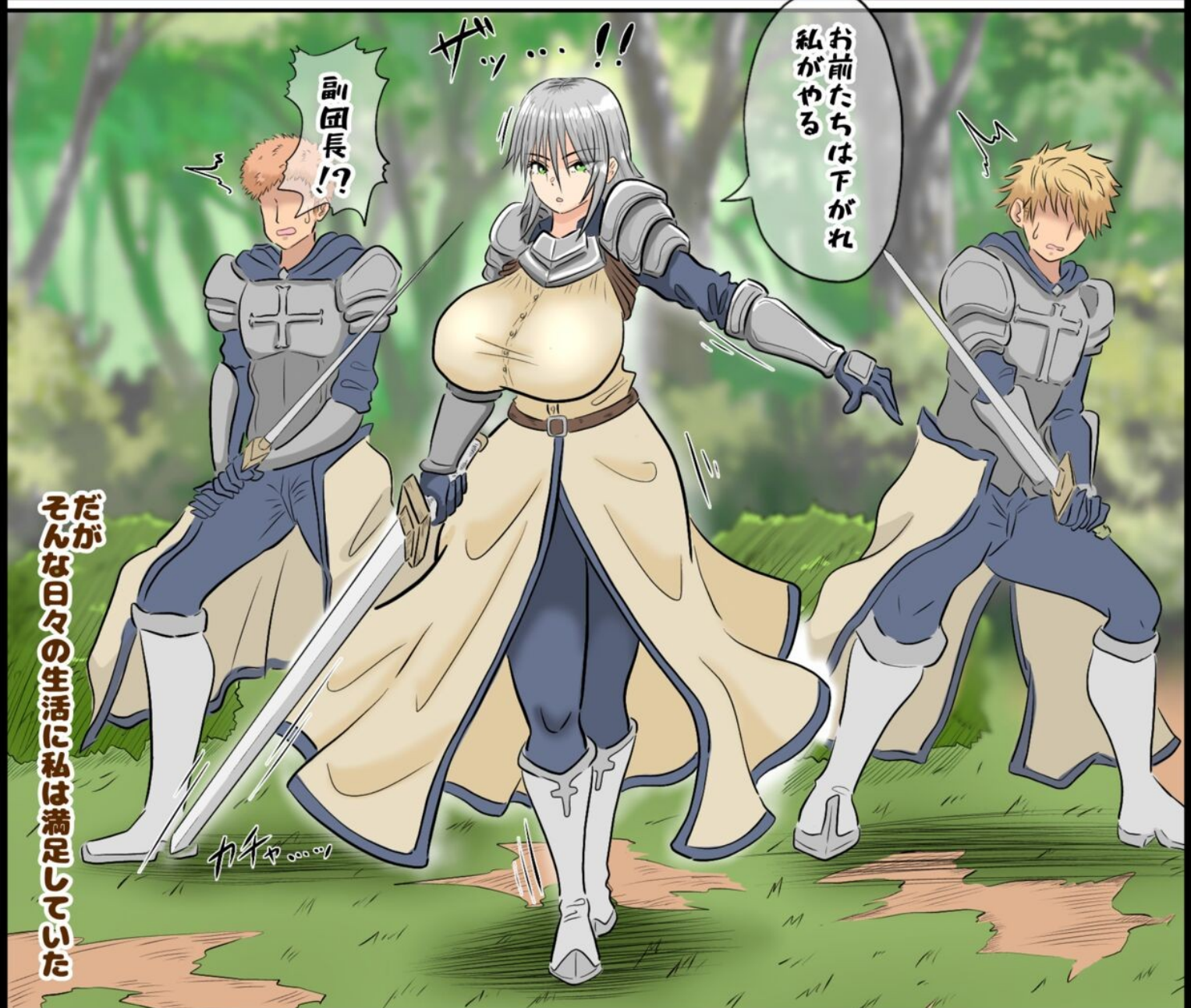


お前たちは下がれ  
私がやる

ザッ...!!

副団長!?

だが  
そんな日々の生活に私は満足していた

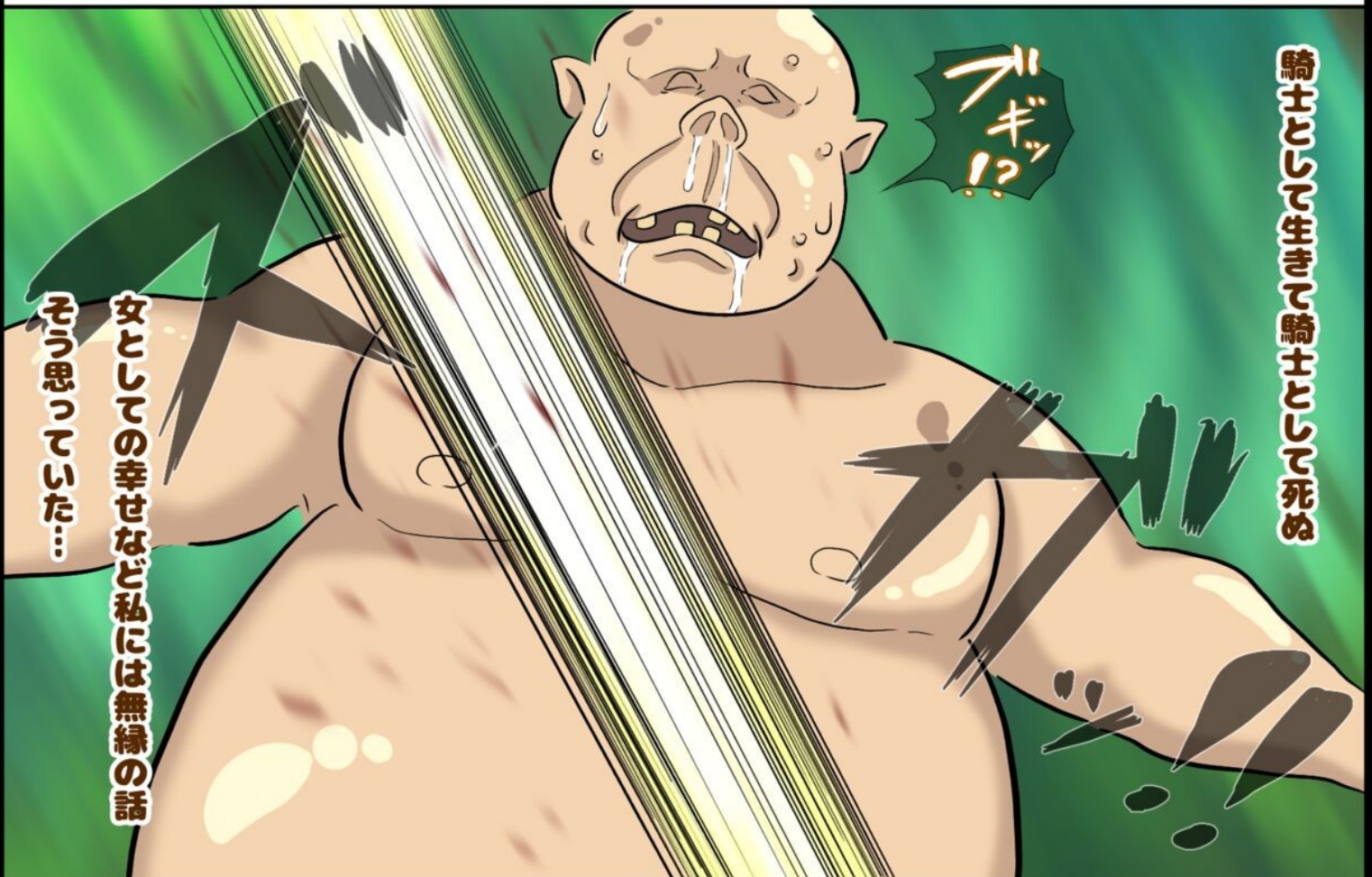


戦場では男も女も関係無い

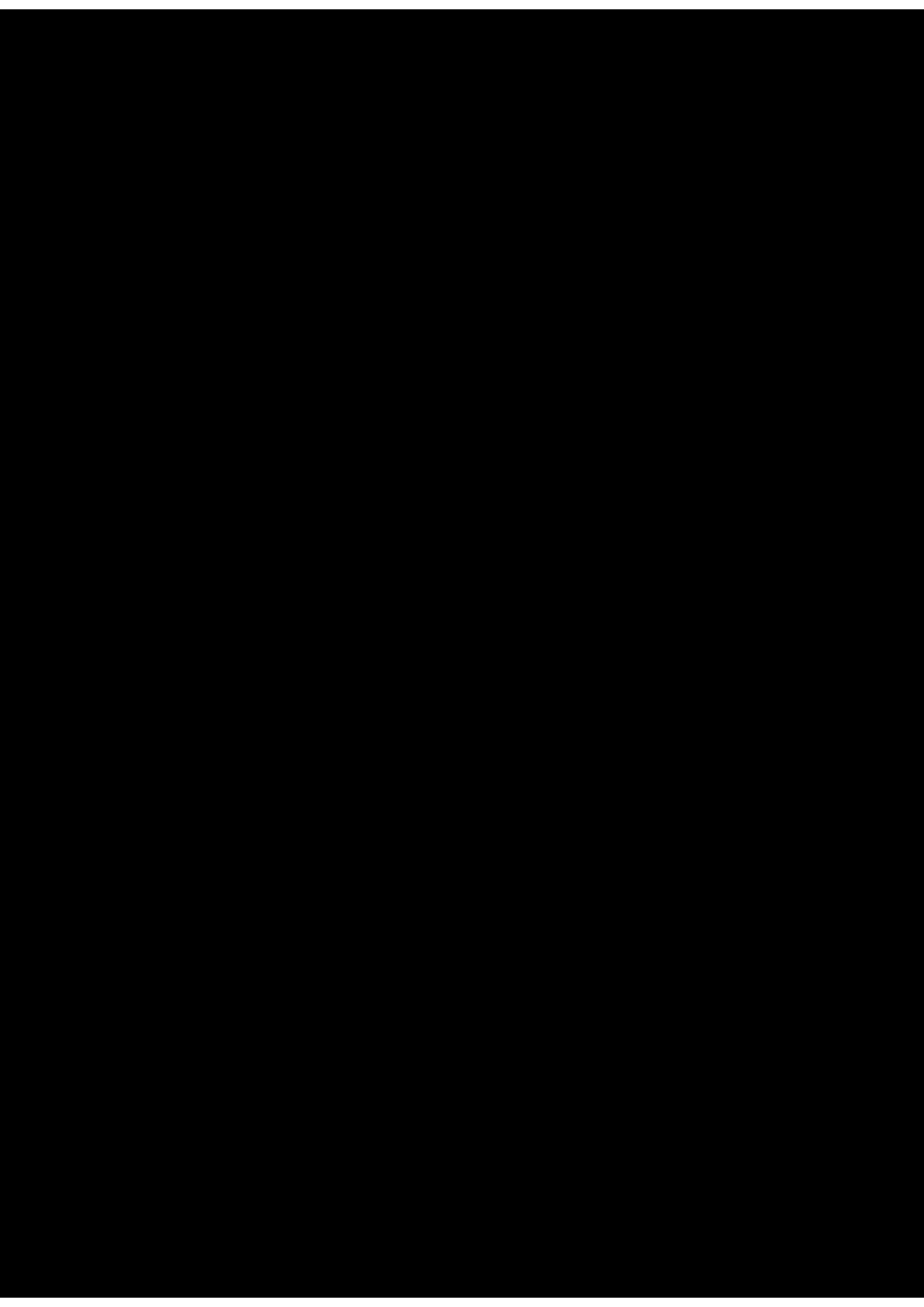


信頼できるのは鍛いあげた己の剣技のみ

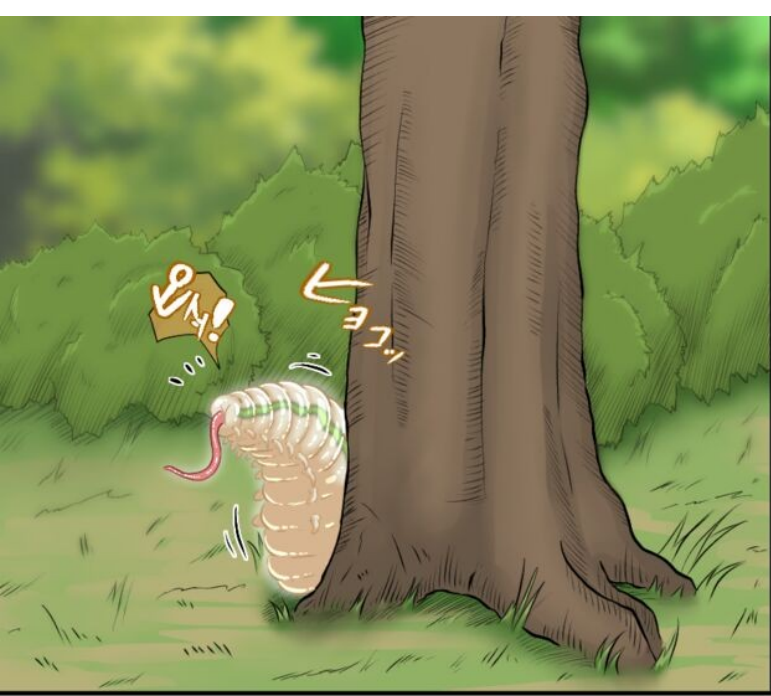
騎士として生きて騎士として死ぬ



女としての幸せなど私には無縁の話  
そう思っていた...

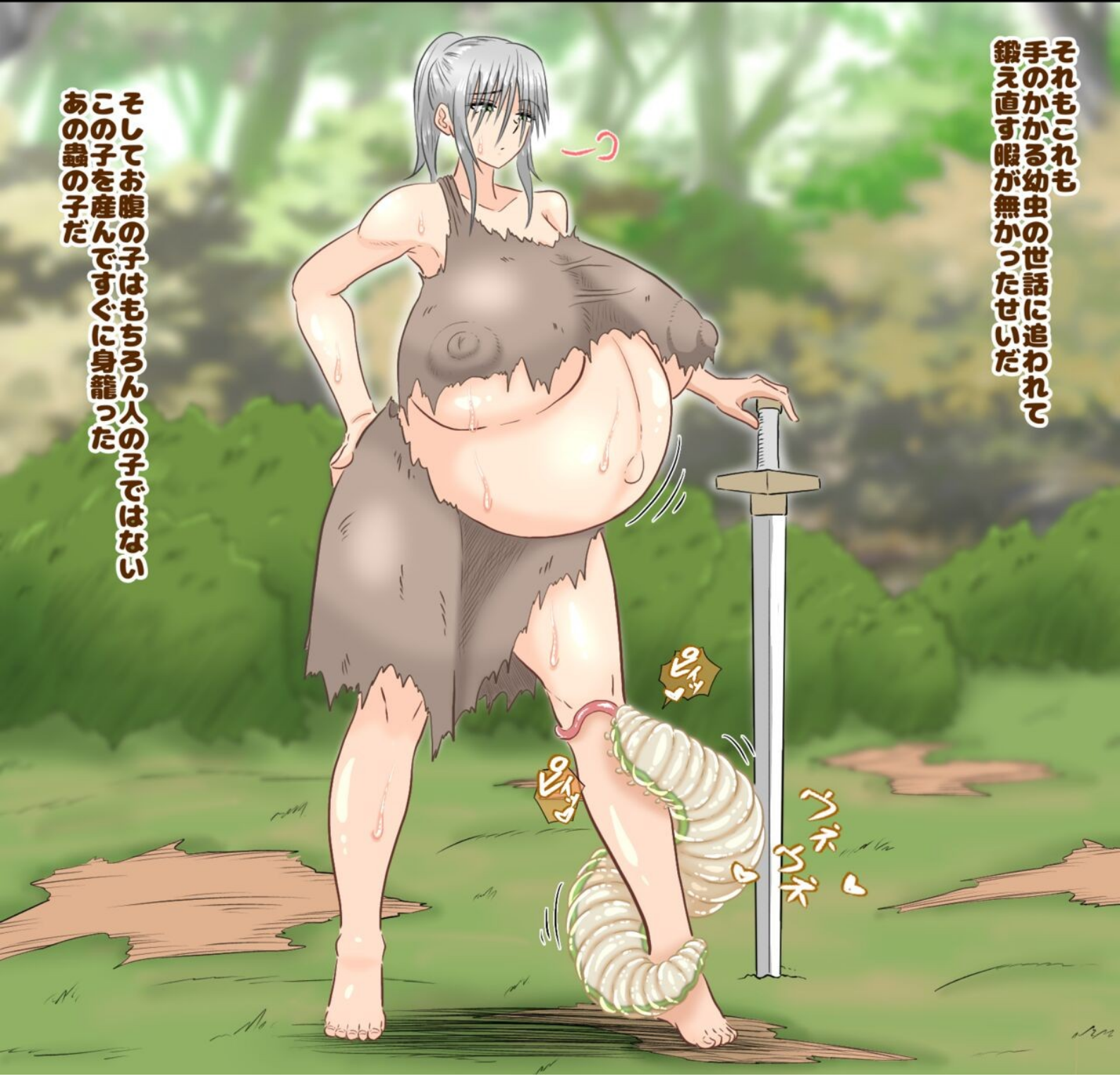






それもこれも  
手のかかる幼虫の世話に追われて  
鍛え直す暇が無かったせいだ

そしてお腹の子はもちろん人の子ではない  
この子を産んですぐに身籠った  
あの蟲の子だ

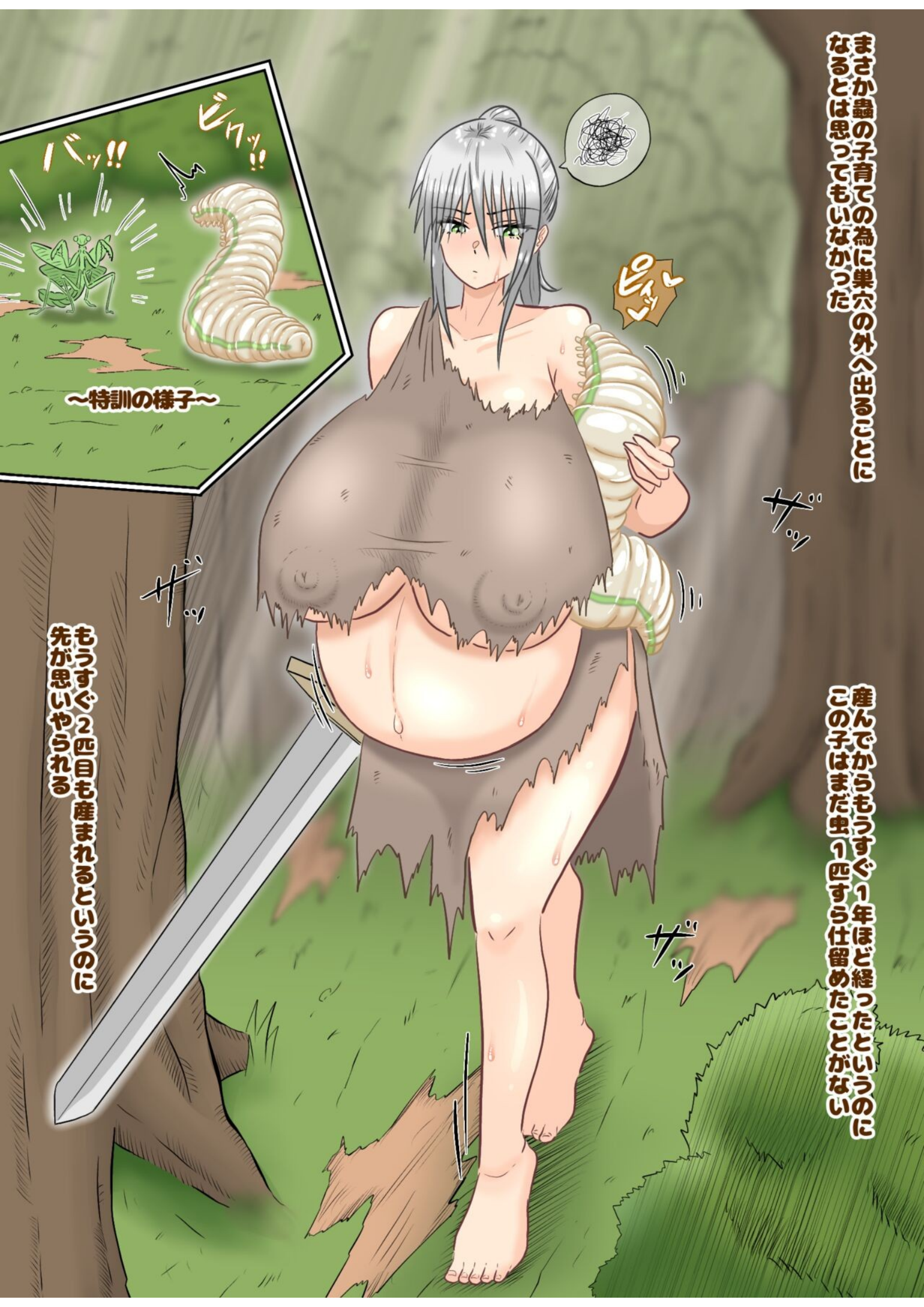


まさか蟲の子育ての為に巣穴の外へ出ることに  
なるとは思ってもいなかった

産んでからもうすぐ1年ほど経ったというのに  
この子はまだ虫1匹すら仕留めたことがない



もうすぐ2匹目も産まれるというのに  
先が思いやられる



結局この日も特訓の途中で幼虫が  
駄々をこねはじめたので

私は深いため息をひとつ吐き  
幼虫を抱きかかえて  
暗い巣穴へと帰ることにした

そこはおちんちんを  
挿れるところじゃ……

幼虫は巣穴に到着するや否や  
勃起した生殖器を肛門への挿入し  
母親の肛門を無我夢中で犯しはじめた……



ハイイッ

やがて当然のように腸内へ射精

んっ  
ズクンズクン



まあ こんなこと  
今となつては日常茶飯事だ

一度射精した程度では幼虫の性欲はおさまらない

ハイイッ

…まだするのか？

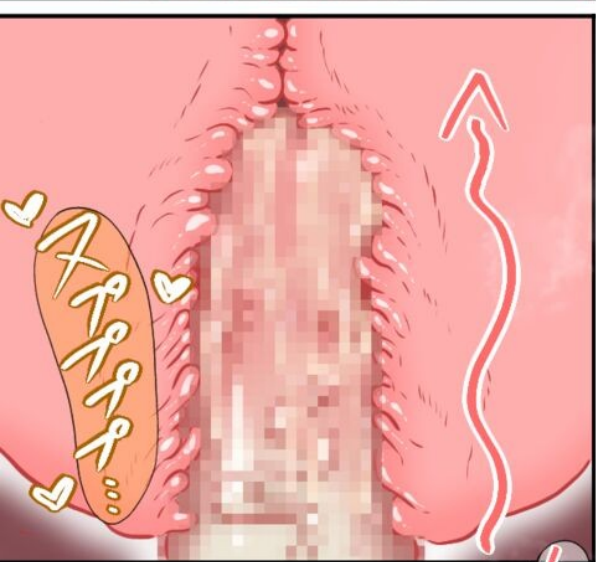
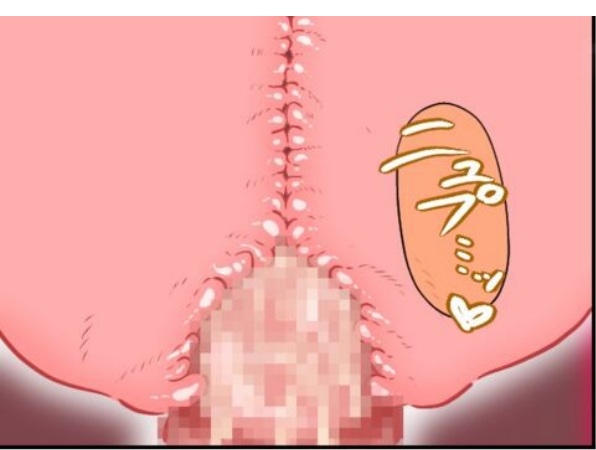
ハイイッ



肛門から生殖器を引き抜くと  
いつものおねだりがはじまった

ズクン

ハイイッ



仮にも血の繋がった親子で  
こんなことをしてはいけないので  
結局は我が子のおねだりを聞いて  
甘やかしてしまう

あまりのしつこさに  
膣内への挿入を許して以降  
幼虫は当たり前のように母親の私に  
交尾を求めるようになった

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

甘やかして育ててしまった結果がこれだ



膣外へ射精させよう  
とすると怒って暴れる  
だから胎内に仔がいようと  
私は黙って幼虫の膣内射精  
を受け入れるしかない

アイツ  
父親に勝るとも劣らない粘り気と量...  
お腹の仔がいなければ私は今ごろ  
この子に孕まされていただろう



長い膣内射精を終え、生殖器が引き抜かれると  
膣内に収まりきらなかった精液が  
ゆっくりと漏れ出てきた

好きなだけ膣内射精したあとは食事の時間  
幼虫は相変わらず母乳が大好きで  
母乳以外のうがい口にしようとしな

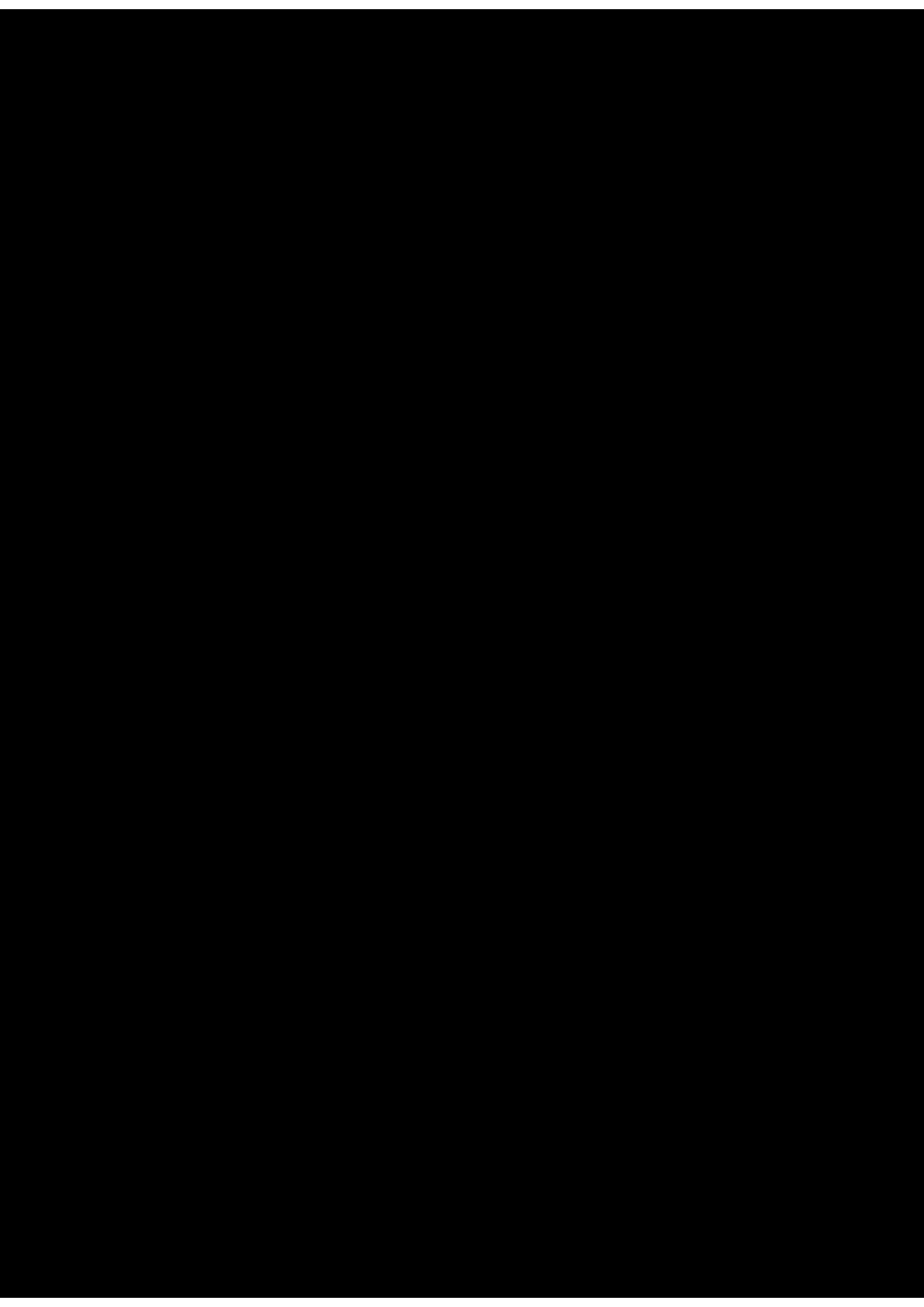


狩りはまだしもいい加減  
乳離れぐらいしてほしいものだ

眠る時も未だに私にくっついていないと眠れない



正直、図体と性欲以外なにも成長していない  
子育てに悩む母をよそに幼虫は大好きな乳房に埋まって  
あっという間に眠りについた

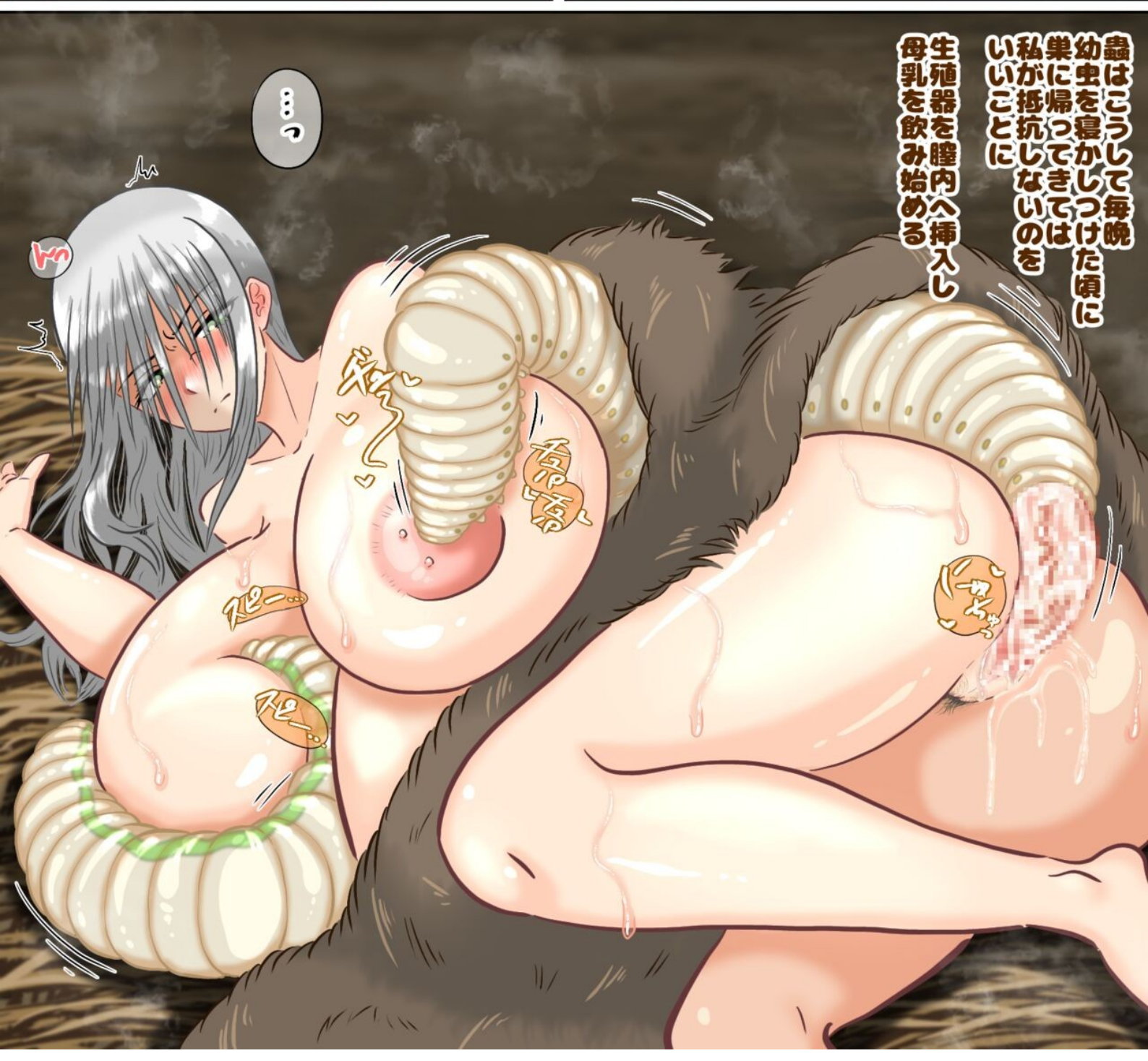




面倒なヤツが巢に戻ってきた



幼虫を寝かしつけて  
一息ついたのも束の間



蟲はこうして毎晩  
幼虫を寝かしつけた頃に  
巢に帰ってきては  
私が抵抗しないのを  
いいことに  
生殖器を膣内へ挿入し  
母乳を飲み始める

...

ん

ズレ...

ズレ...

ズレ...

ズレ...

ズレ...

我が子を起こさないように声を抑えた  
コイツとまぐわうのが日課となっていた



もちろん好き好んでこんなバケモノを  
受け入れているワケじゃない

好きにやらせれば早く終わる  
からそうしているだけだ

そこに特別な感情など持ち合わせてはいない



やがて満足したのか、蟲は生殖器を引き抜き  
幼虫と同じように私に引っ付いてすやすやと眠りについた

こうして私の1日はようやく終わる  
そして翌朝、母乳・交尾を求める2匹の蟲に起こされるのだ



この私が蟲を産み育て  
そのうえ2匹目の蟲まで妊娠し産もうとしている

元の生活に戻る機会などいくらでもあったはずなのに…

自分で産んだとはいえ、蟲1匹見捨てられない自分の甘さに  
心底呆れるばかりだ

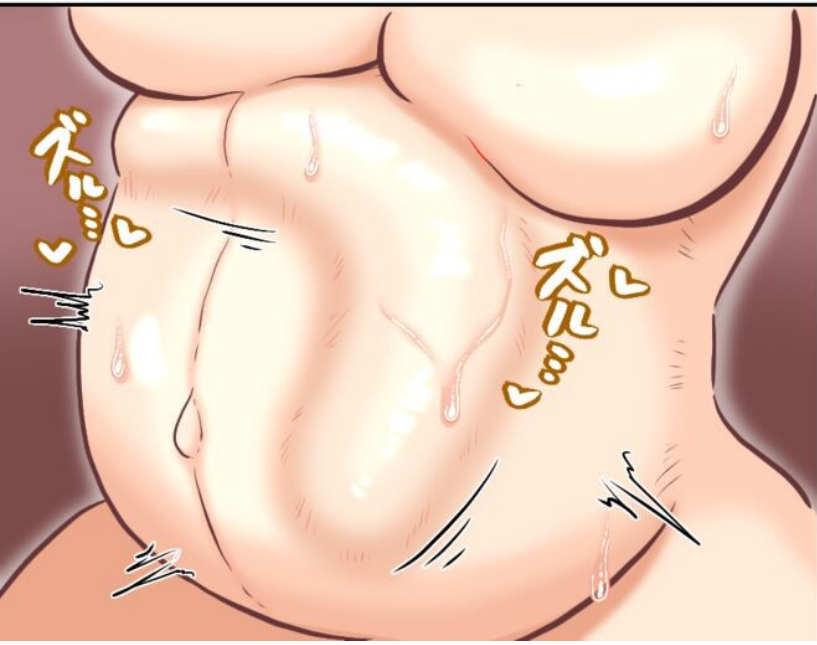
このところお腹の中の幼虫が活発に動くようになってきた

それに気づいたのか...ここ数日  
父親の蟲が私のそばから離れようとしな

どっちが  
赤ん坊なんだか



この蟲の行動が意味するところを私はよく知っている...



思ったとおり  
胎の中の幼虫が慌ただしく動き出した

うううう

離れる...

出産の時を迎えたようだ



幼虫はゆっくり...  
ゆっくりと産道を進み始める

お母さん...  
お母さん...  
お母さん...

あく...  
あく...

産まれる

また産んでしまう

ぐうう!

あつ...

この私が虫の子をまた...





膾内から這い出てきたのは1匹目と同じ模様の幼虫

へその緒も繋がったままなのに  
本能がそうさせるのか、幼虫はすぐに私の乳房に吸い付いて  
ごくごくと母乳を飲み始めた

私は迷っていた  
1匹目を産んだ時と同じ  
いま巣穴から逃げ出せば  
「騎士」としての私に戻れるだろう  
だが…母親の私がいなければこの子たちは……



お前の子だぞ  
責任は取ってもらう  
からな

…フシ  
喜ぶな  
気色悪い…



ギョッ

ギョッ

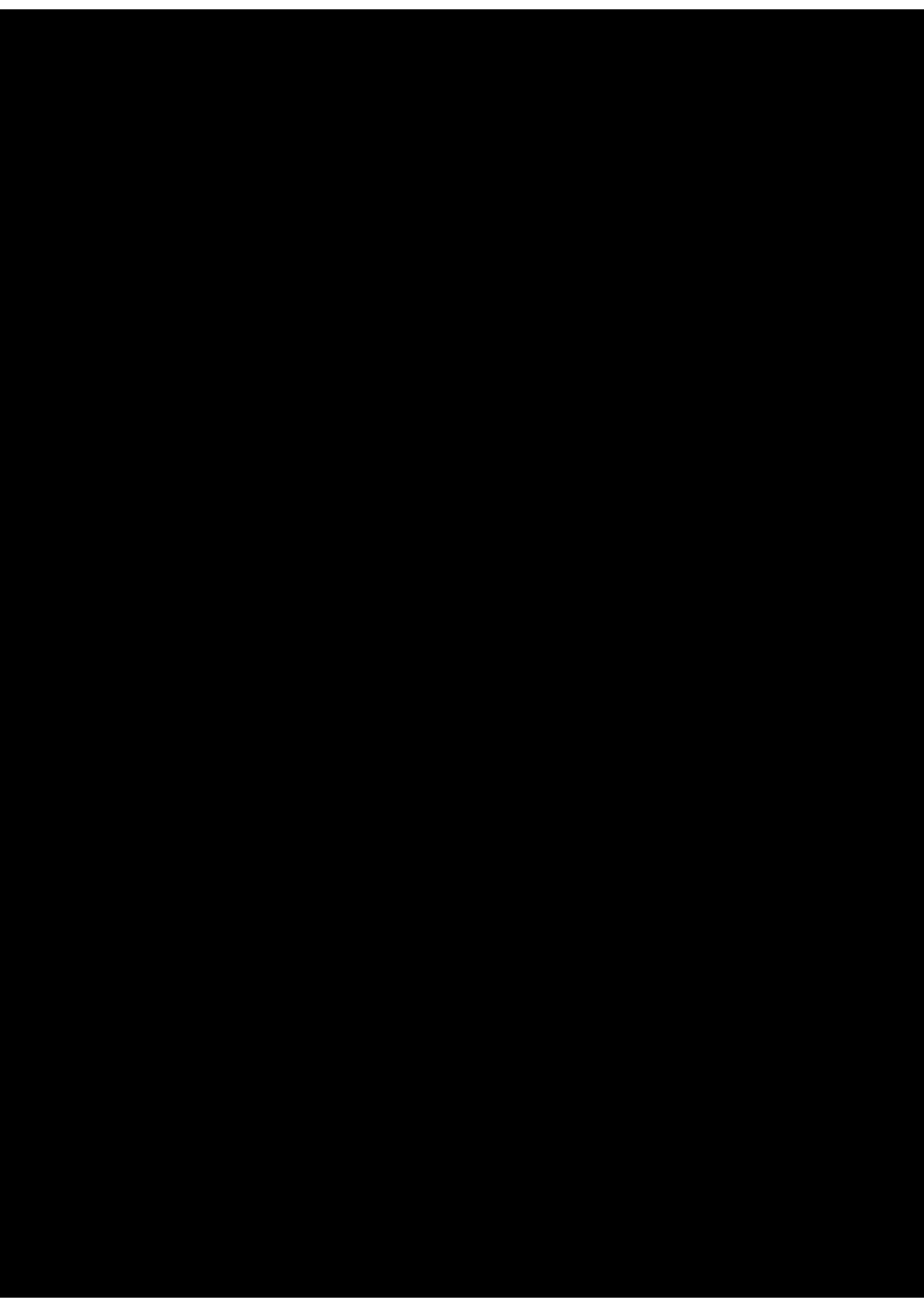
うわ

うわ

うわ

うわ







数ヶ月後

2匹を産んでからあつという間に数ヶ月が経った

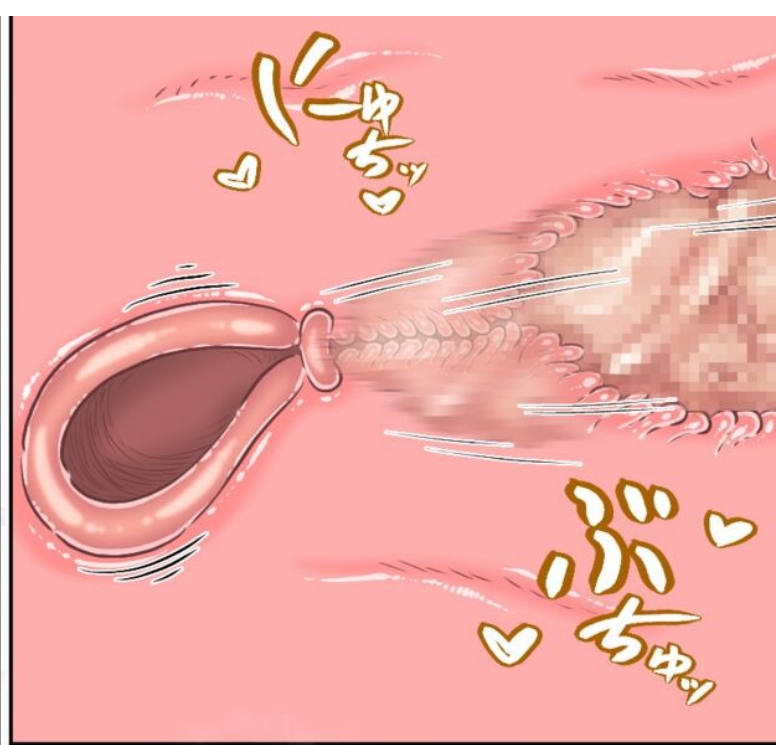
1匹だけでも手に余る幼虫が2匹に増え世話に追われる毎日

コラ……ッ

勝手に挿れるなッ

体力が有り余っている幼虫たちは私に  
思い悩む時間さえ与えてくれない





産んですぐのうちはいちいち引き割がしていたが結局はそのいつかきに根負けしてしまった

.....



産まれたばかりの幼虫に付きっきりの私に1匹目の蟲いわば上の子は当然のように膣内射精する

幼蟲は私が抵抗しないのをいいことに  
隙あらば交尾を迫る

毎日毎日...

よくもまあ  
飽きもせず...



昼夜を問わず呆れるほどの性欲だ  
その体力を交尾以外に向けて欲じいのだが...

何回射精す  
つもりだ



やつと下の子を寝かしつけると  
上の子はまだまだ元気な生殖器を  
乳房へと擦り付けてきた

.....

おっぱいで射精したら時に見せるおっぱいはずいぶん

むにゅ

おっぱい

おっぱい

こうして乳房で生殖器を包み  
射精をさせてやるのもはや日課だ

まったく

こんなに勃起させて...

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい



う...臭い...



ト...

ぶ...

...



...

母親の膣内、乳房まで精液まみれにして  
ようやく満足したらしい

このとおり  
子どもを寝かしつける頃には  
いつも身体中精液でべたべたになっ  
てしまっ

ギャアア...

...

...



もちろん寝かした後も苦勞は続く



幼虫たちは寝かした後も度々目を覚ましては母乳や私の身体を求めてくるからだ

またか...





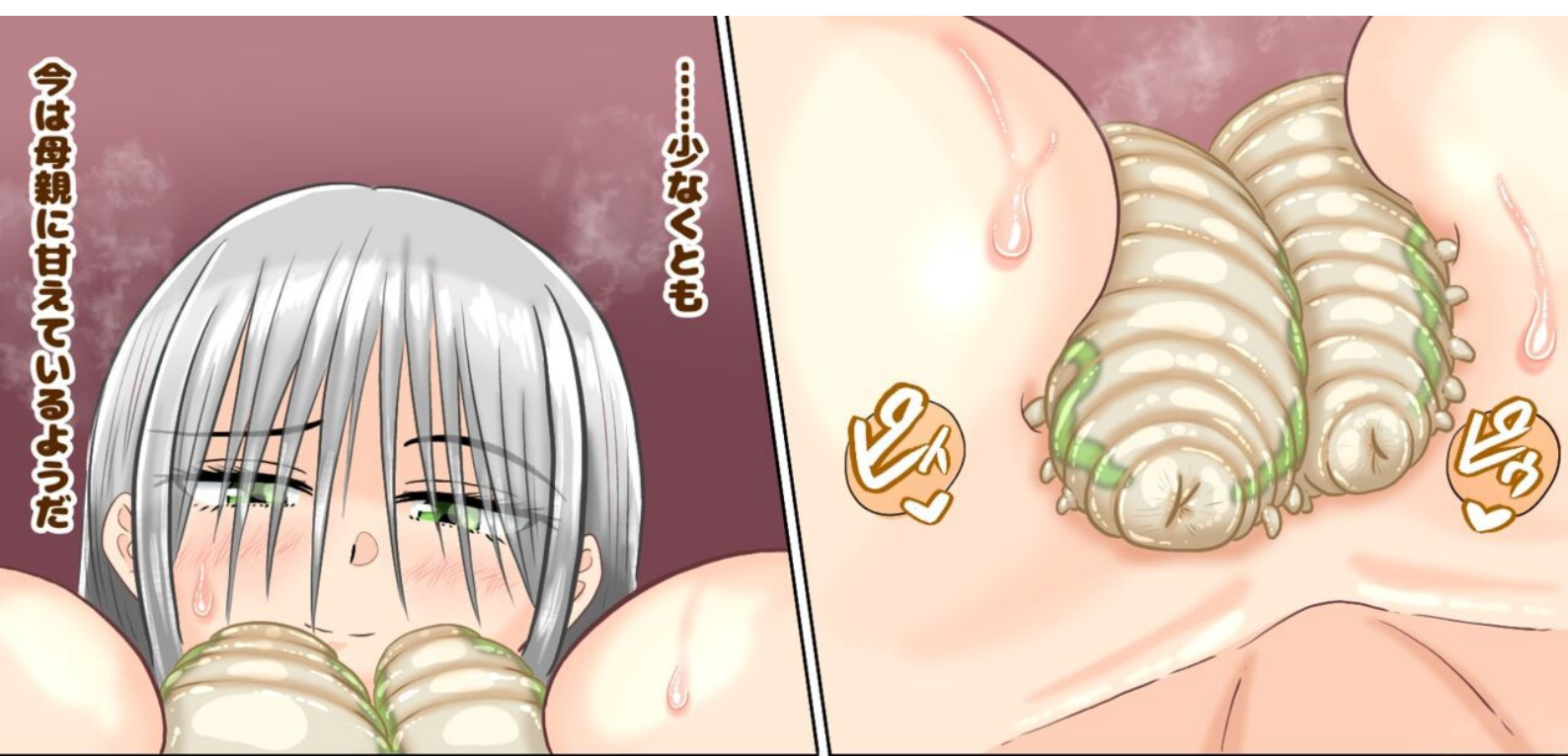
射精し切つて眠くなったのか  
兄弟は乳房をしゃぶりながら甘えてきた



さつきまで好き放題犯していたけれど  
この子達は私に「母」を求めているのか  
それとも「女」を求めているのか

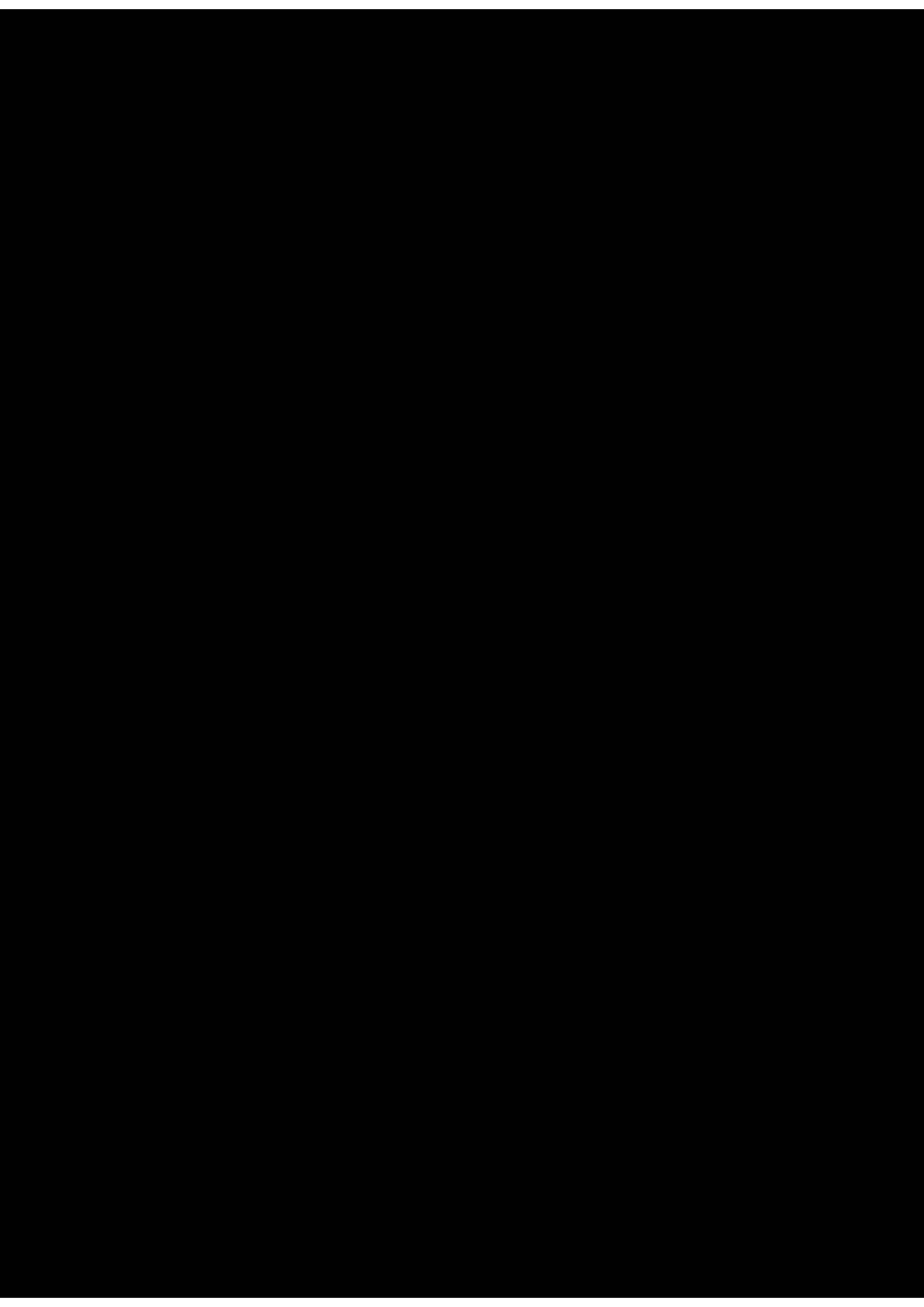
今は母親に甘えてるよんだ

……んんんんん



寒さと乾燥に弱いこの蟲たちは  
 このジメジメとした巣穴の中でも  
 私に密着するようにして眠るのを好む  
 ……まあただ単におっぱいが好きなだけ  
 なのかもしれないが

んんんんん



当然  
子どもを寝かしつけただけでは  
1日は終わらない

ギィ

わかったから  
がつくなら

面倒なヤツが巣穴に  
帰ってくるからだ

……好き好んでこんなことをするワケじゃない

ほら

さっさと挿れろ

だま

だま

くほ

ただ、抵抗せずに相手をして  
やった方が早く済む  
それだけだ  
……あの子達も起きてしまう

ギィ

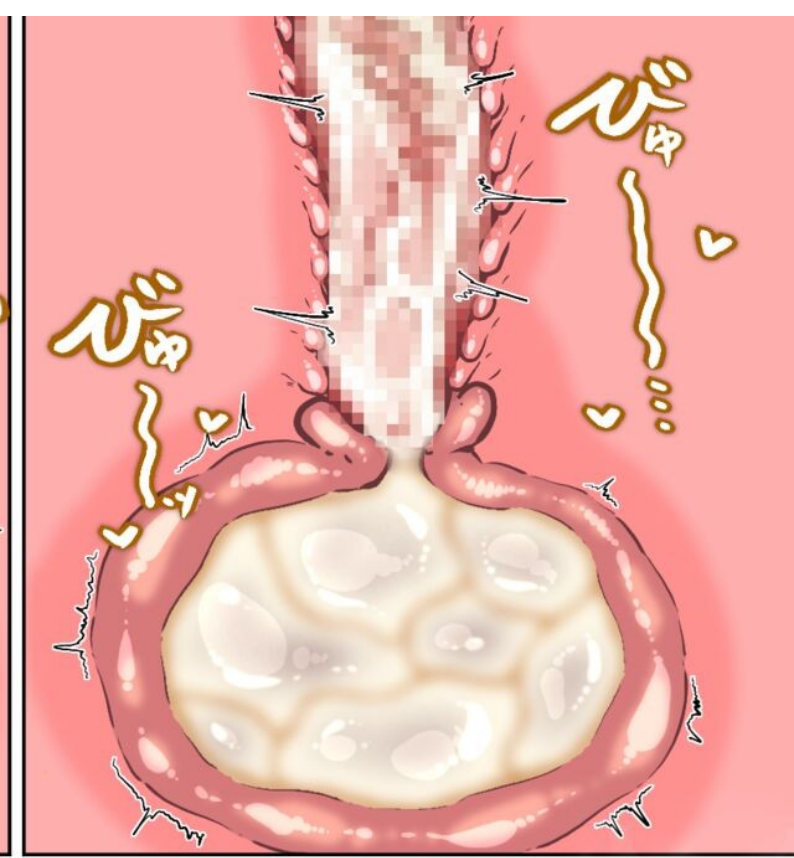


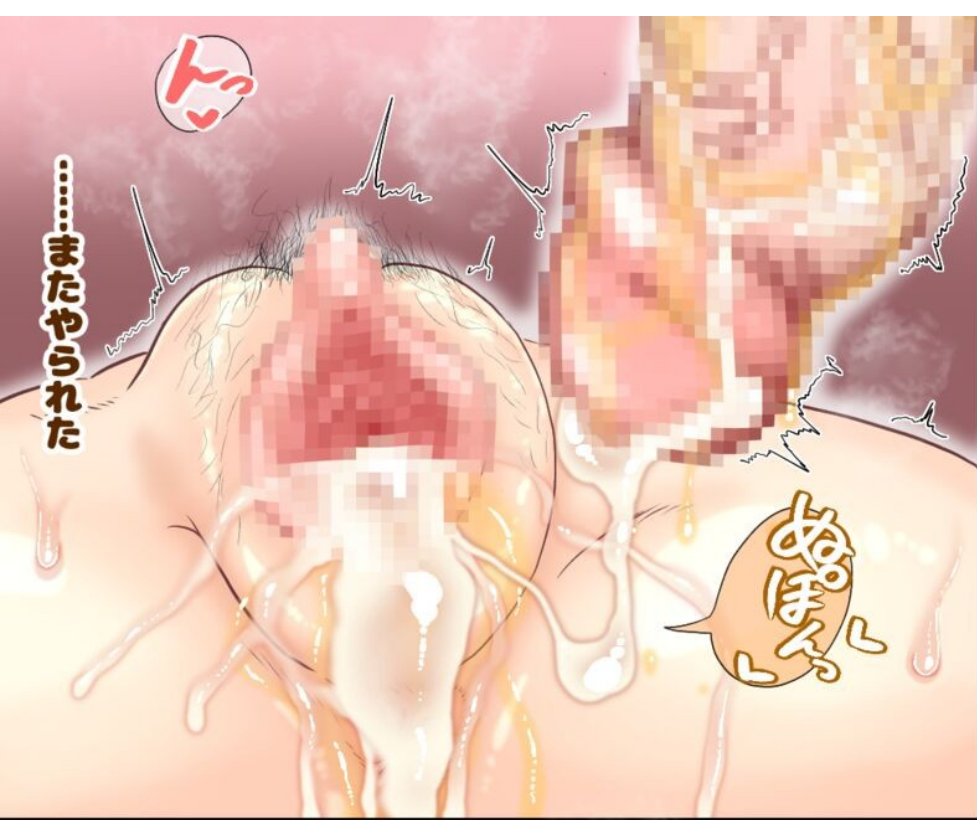
2度も私を孕ませたくせに

毎日毎日…飽きるわさの女



アッッッッッ





……またやられた

ぬほんし



ズル……



数えきれないほど犯してきたくせに飽きるどころか膈内で漏らすなんてどうしようもないヤツだ

……

クックッ

ぬほんし

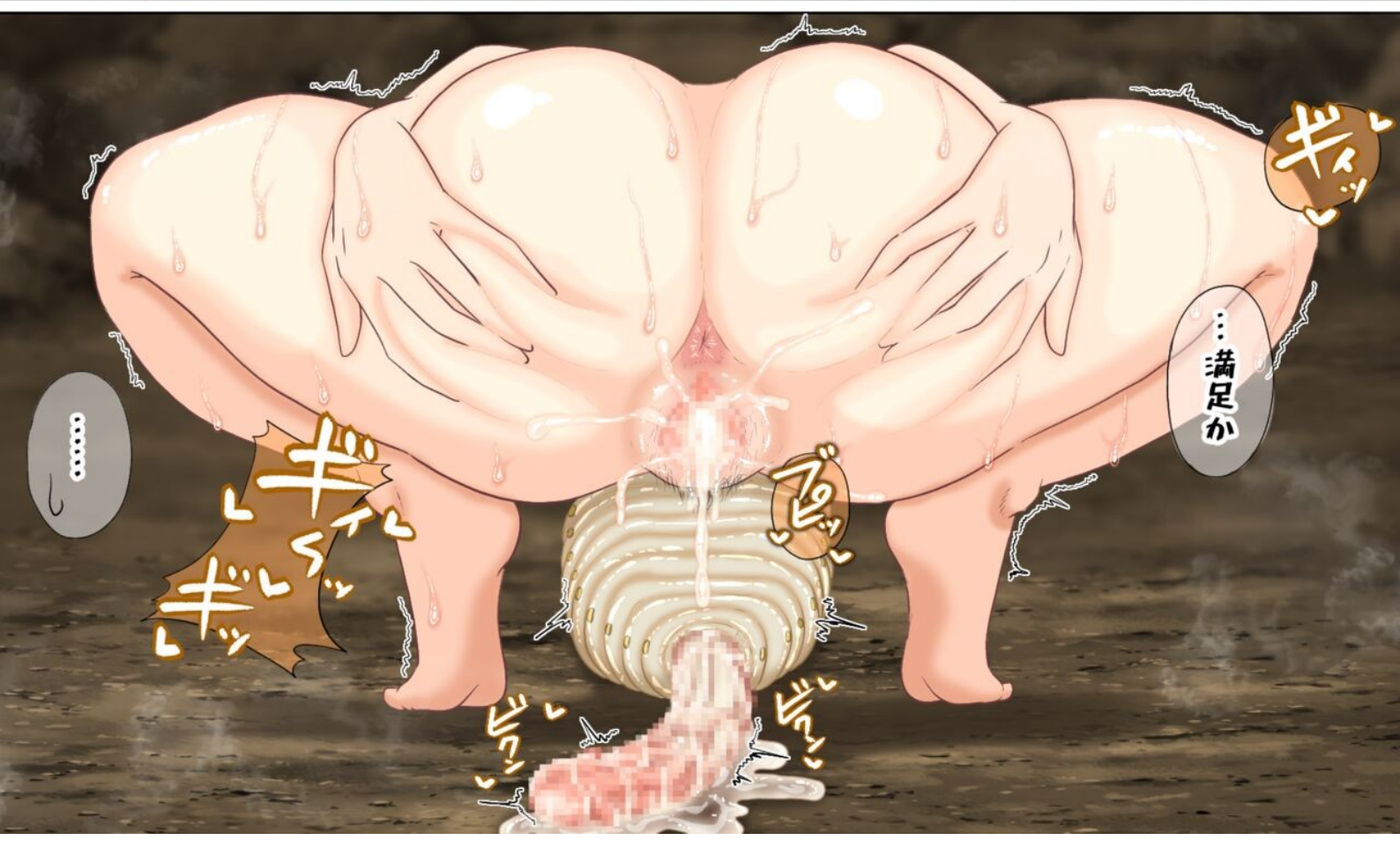
私との交尾がよほど快感なのが蟲たちはたびたび私の膈内で「相相」をする

蟲は私の身体を犯すだけでは満足せず  
私にの奉仕のを求めてくる

…漏らしたら  
斬り刻むからな

頭にくるが  
早く満足させないと  
子ども達が起きてしまう…





さっさと終わらせたいのに  
コイツの性欲は底無じだ

射精しても  
射精しても終わらない



こんな無様な格好までしてSEXのゴキョウ...







散々私の身体を犯しておいで満足したらこじだ

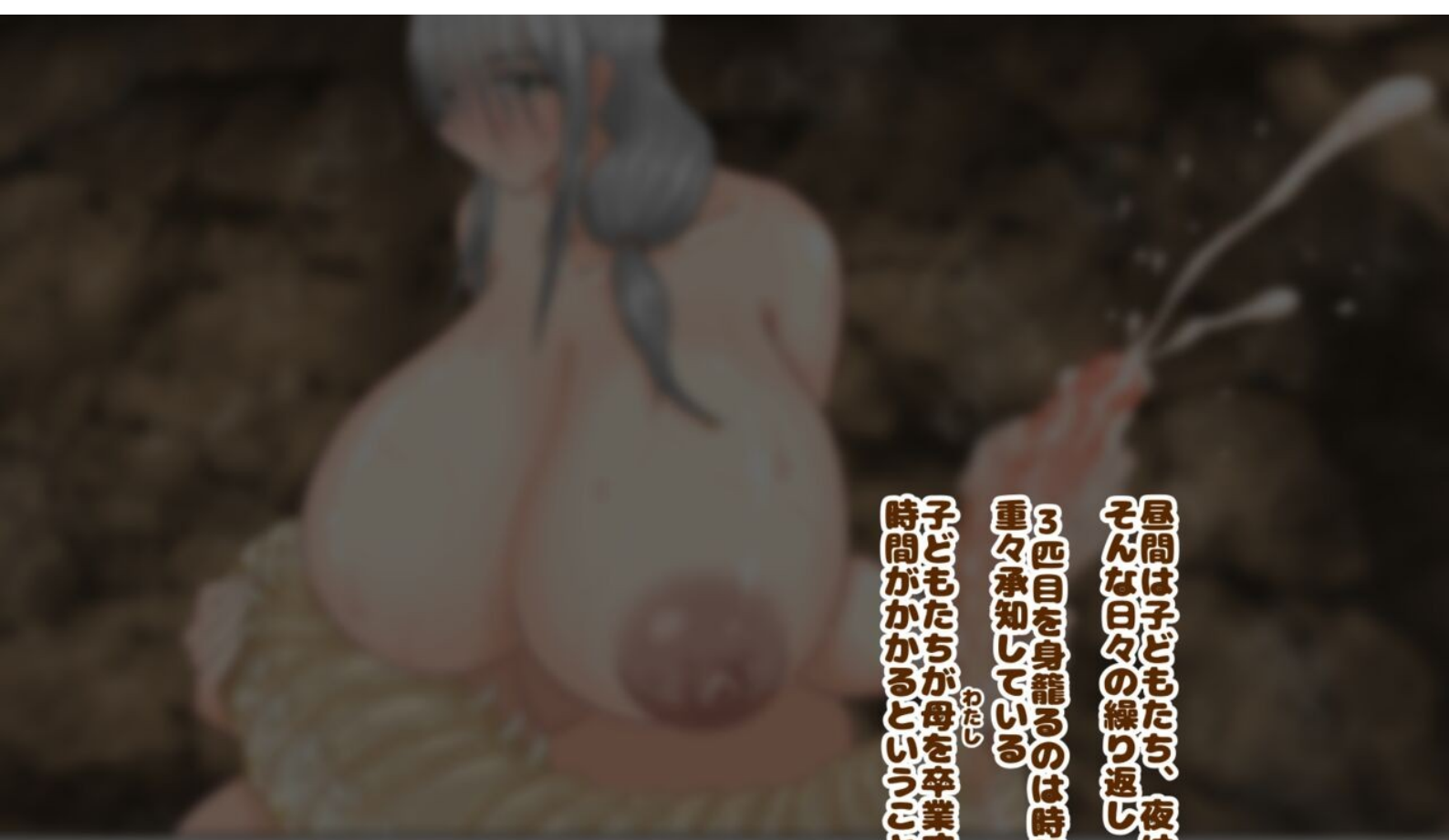
やれやれ...

夢中になって乳房をしゃぶる様子はまるであの子たちと同じ赤ん坊

ジュルル

ぬた



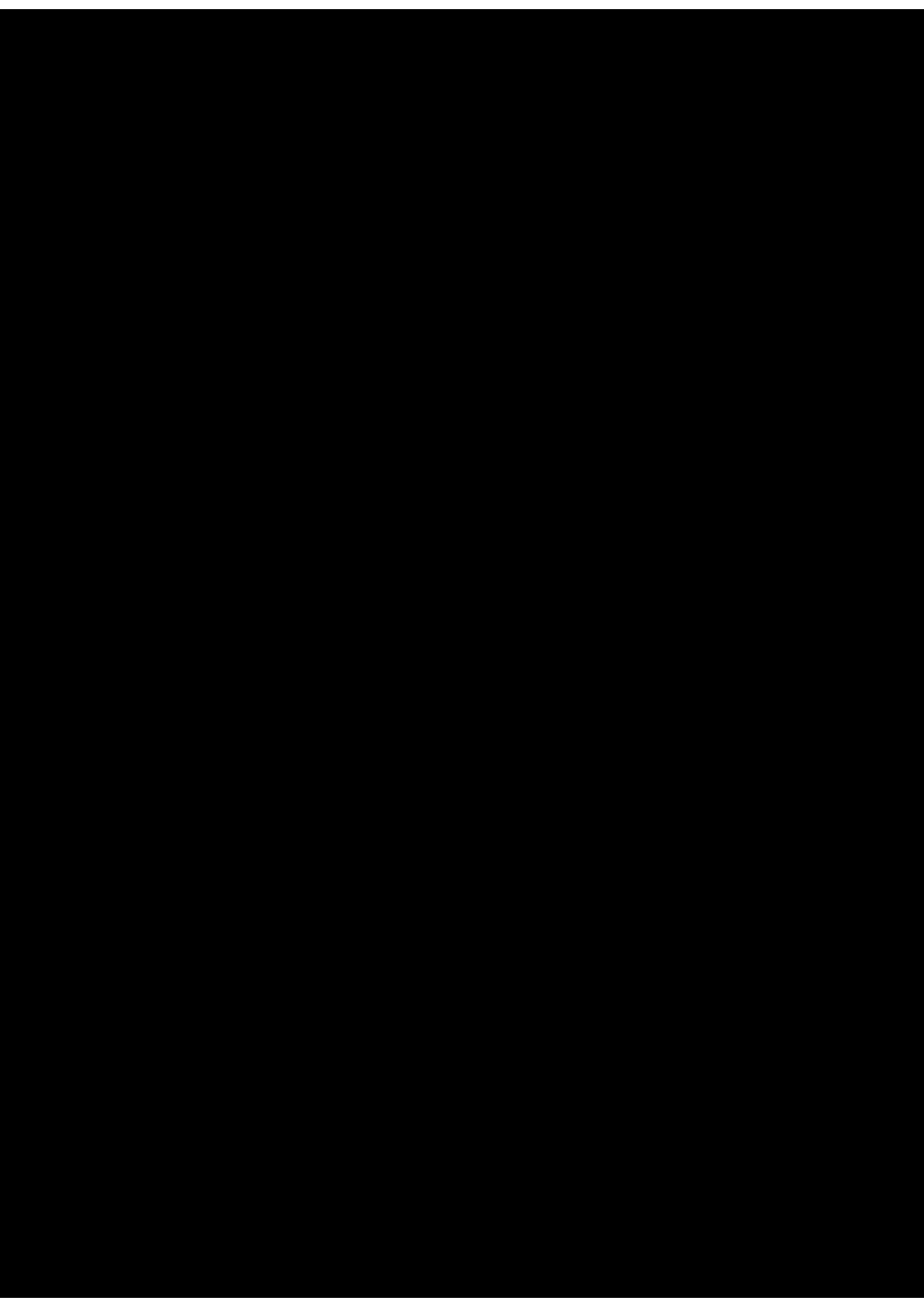


昼間は子どもたち、夜は父親の蟲と交わる  
そんな日々の繰り返し

3匹目を身籠るのは時間の問題だといいついといふら  
重々承知している

子どもたちが母を卒業するまではまだまだ  
時間がかかるわたしということも……





数ヶ月後

んちゃ

グチュ

あーもう……

コラッ！  
いい加減にしろ！



グチュ

んちゃ

私は相変わらず蟲たちと共に森で暮らしていた

……あと一回だけだからな

2匹の息子も図体だけは大きくなり……



…お腹の子も順調に成長していた

…優しくどうぞ

お腹に赤ちゃん  
いるんだから

はい

はい

はい

はい

はい

2匹目を出産後、すぐに3匹目を妊娠

それにしても…

重くなったな

はい

はい

はい

はい

まあ…毎日のように種付けされていたのだから  
孕まないツケがない

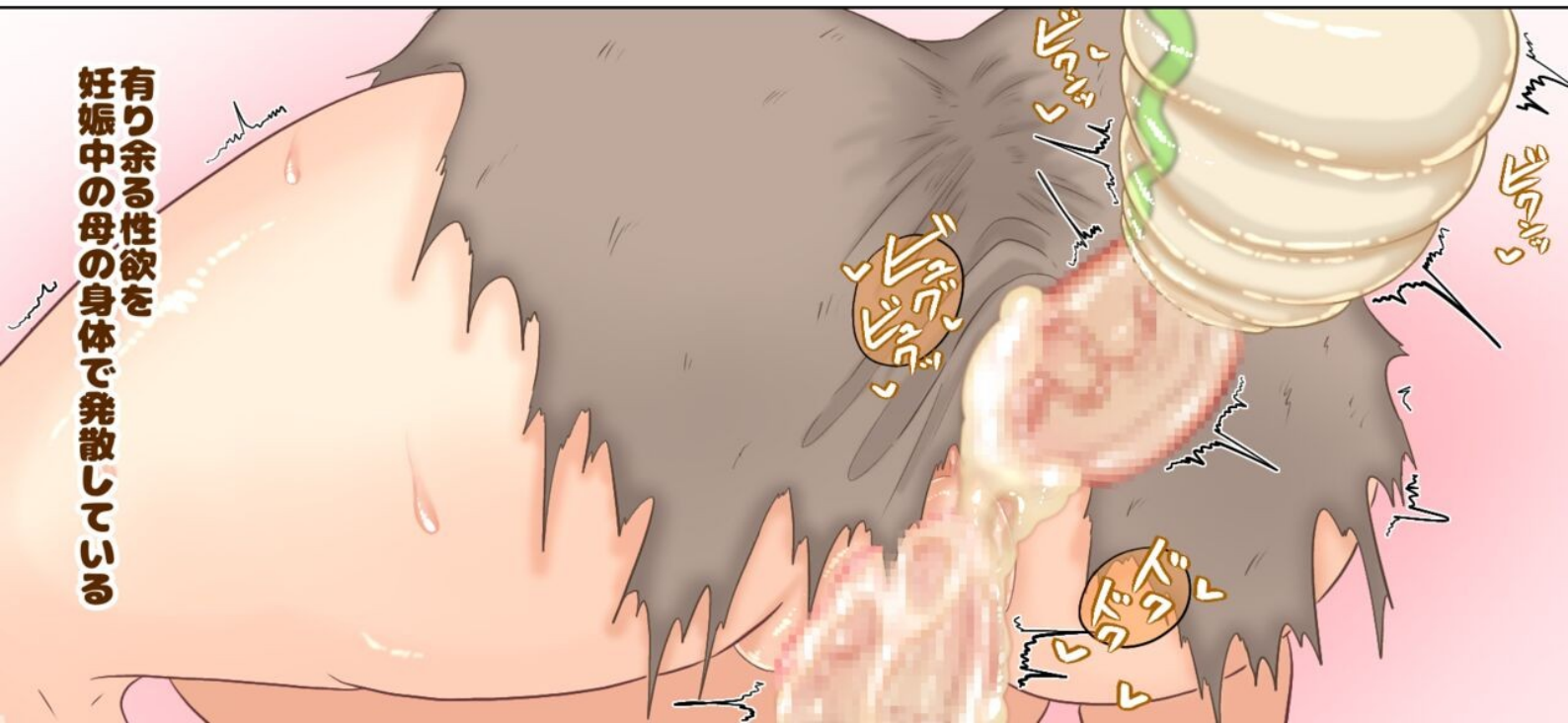


兄弟も団体こそデカくなったが  
中身は以前と変わらず



いまだに母親にべったりで  
わたし

有り余る性欲を  
妊娠中の母の身体で発散している



私だって母親離れ  
させようと必死だ

だからわざわざ  
身重の身体で外へ出て

外の世界での生き方を  
指導しているのだが！

2匹はまったく聞く耳を持たない



蟲たちは今日もいつもどおり満足するまで母親を犯しお腹が空いたら母乳を飲み満腹になったら甘えはじめ眠くなったらくつついて寝る

甘えん坊だとは思っていたがまさかおっぱいすら卒業できないとは!!私の育て方が悪かったのだろうか

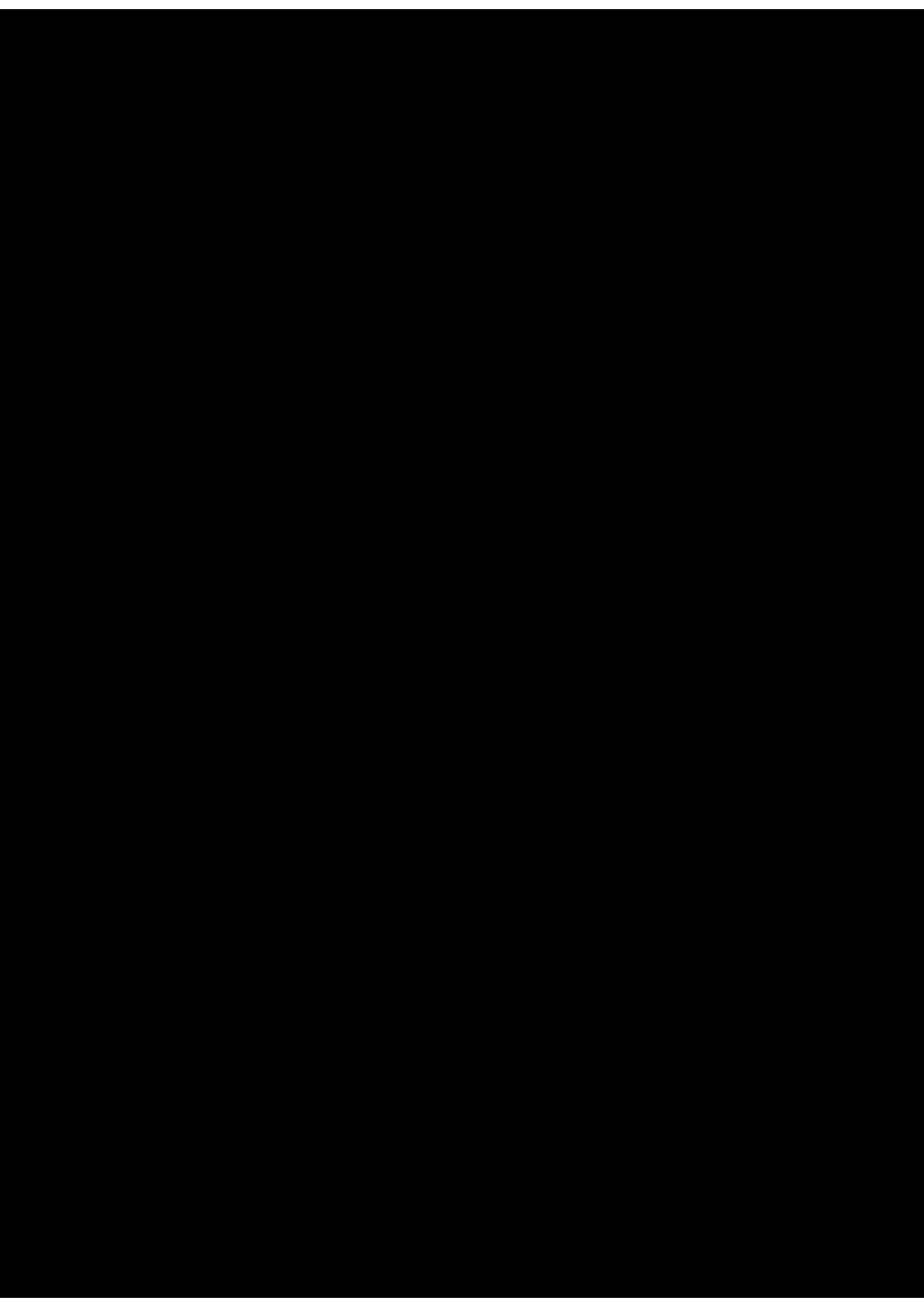
くつつく



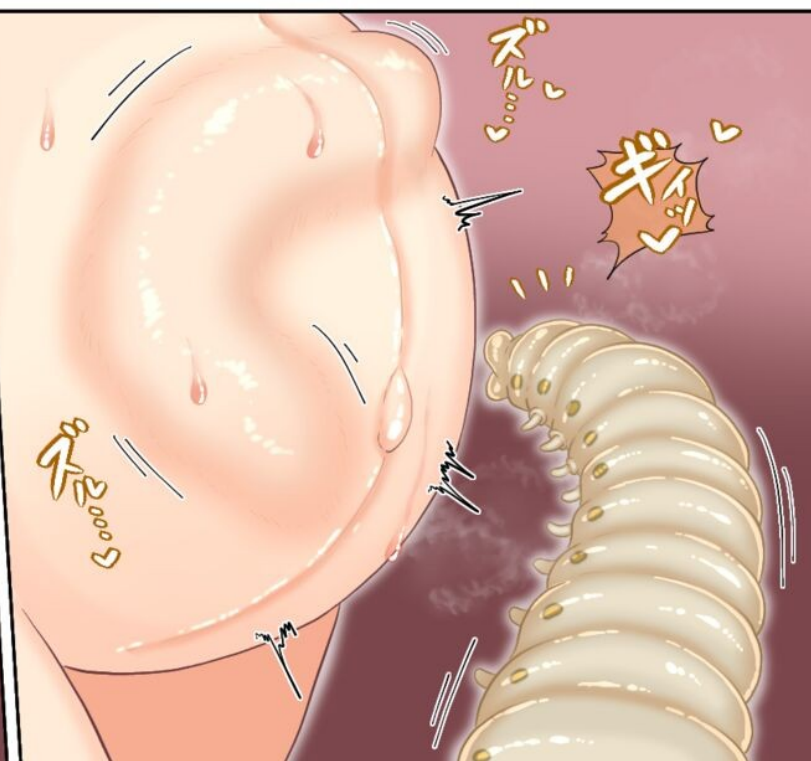
もしかすると  
どちらかがお腹の子の  
父親かもしれないのだが...

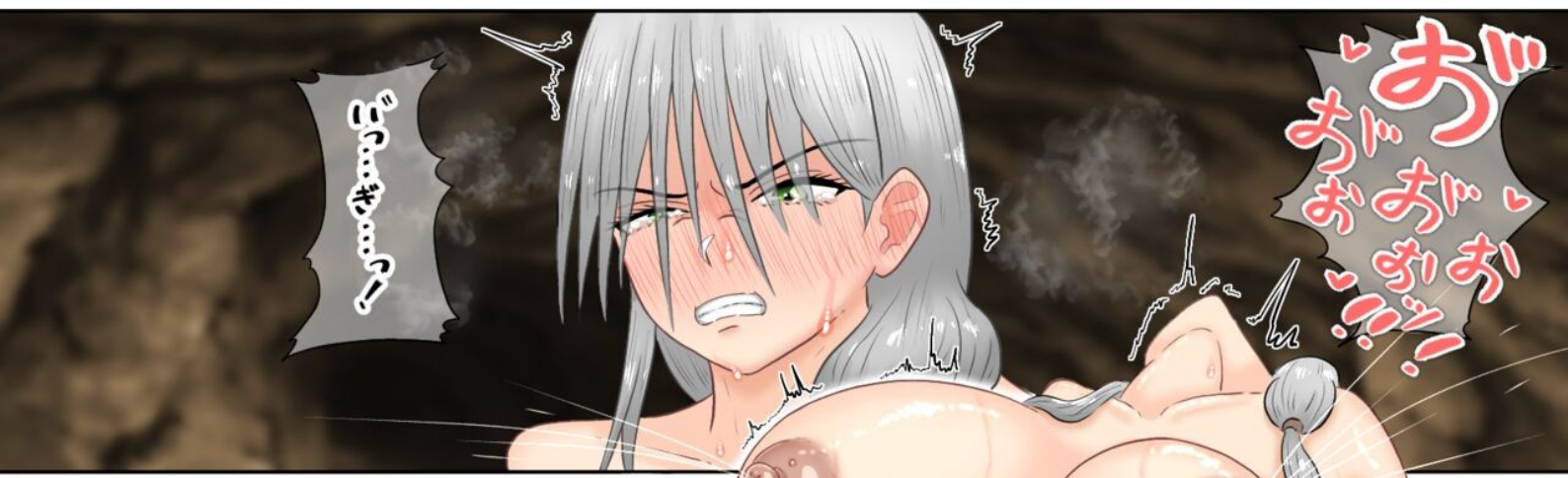
この子たちに  
父親はまだ無理だな





近ごろ  
蟲がやけにお腹の様子を気にして  
こまり、お尻をうしろに  
して





産まれてきたのはあの2匹に  
負けず劣らずの元気な幼虫  
芋虫を産んだというのに  
……元気な仔が産めて  
安堵している自分がいた  
こんな連中の相手をしていただけ  
ヤキが回ったらしい



騎士である私がこんな蟲の女に  
なるなんて屈辱だ



!!とはいえ  
今更この子達を放り出して  
逃げるわけにもいかないだろう

なんだ  
なんだ

ん

ん

ん



!!  
父親だけではあの子達を  
育てられないだろうしな

ん

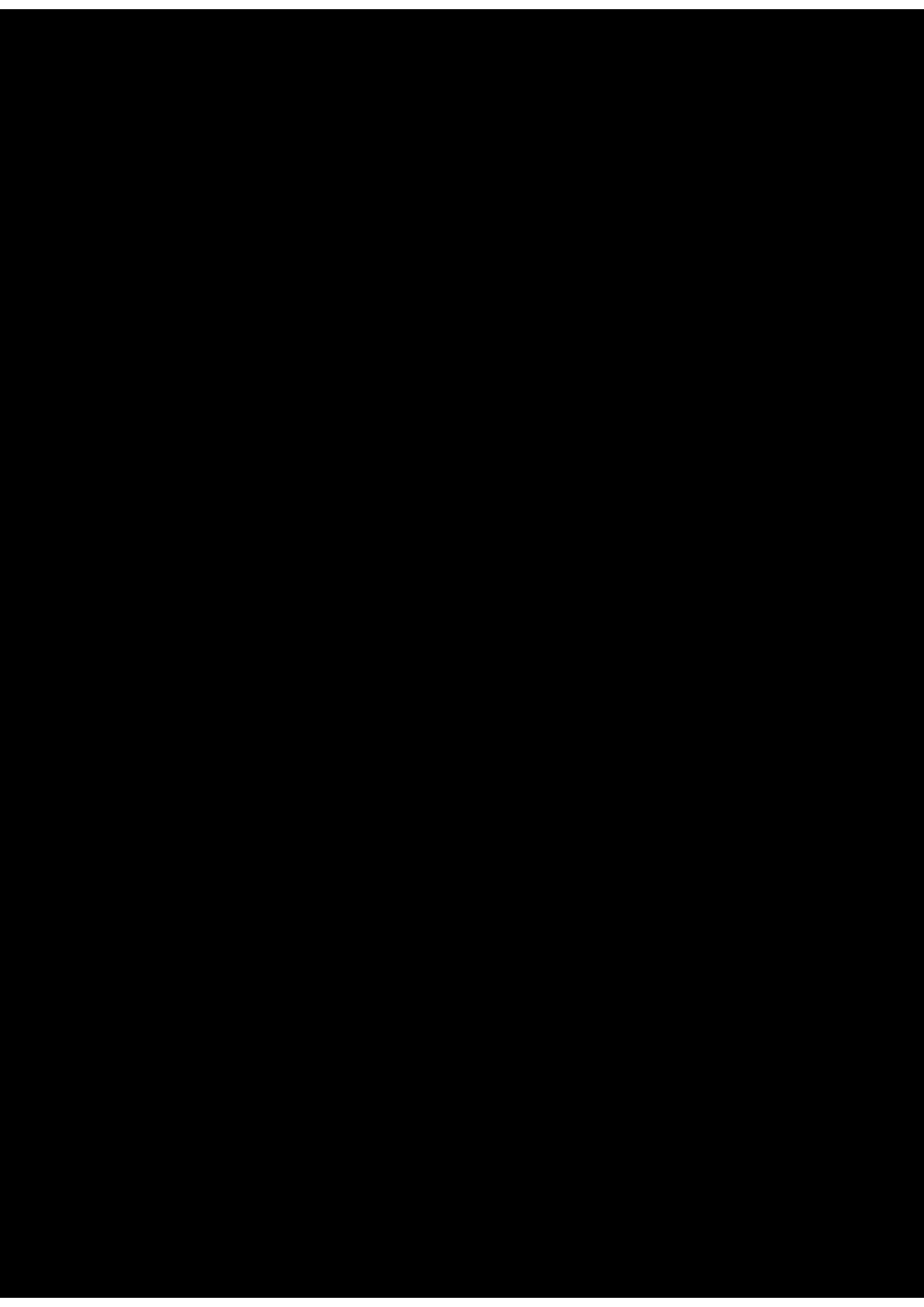
がわわわわ



それに母親がいないと

ん

じり



1匹でも面倒なのに  
先が思いやられる

やれやれ  
これからは  
3匹の子育てか



ギョッ

おんおん

うん

うん

少しは手伝ったら  
どうなんだ  
この中メ親父め

…まったく  
次から次へと  
産ませるくせに

ギョッ



騎士として生き騎士として死ぬ

かつて志した夢は叶えられなかつたが  
蟲たちの女として、母として生きるのは  
この子たちを産んだ私の責務だ

もし蟲が私に飽きて、子どもたちが母親の元を  
離れる日が訪れたらその時は……

いや、この甘えん坊たちに  
そんな期待をしても無駄だな



わたし

なんで  
なんで



ご購入いただきありがとうございます

女騎士ちゃん続編を描きました  
描くの遅くて本当に申し訳ありません…

今後毎年1作品は新作描くつもりなので  
引き続き応援よろしくお願い致します!



前回までのあらすじ

村人からの依頼で害獣を駆除しに洞窟を訪れた騎士ヘレナ  
しかしその洞窟は害獣ではなく『害虫』の巣穴だった！

蟲の毒によって身体の自由を奪われ  
巨大な芋虫に種付けされ蟲の仔を妊娠、出産してしまう

蟲である我が子に情が湧いてしまったヘレナは  
逃げるどころか母乳を与え幼虫を育て始めた

『この子が一人前の蟲に育つまで…』

蟲はそんな健気な『母親』を放ってはおかない  
ふたたび交尾清けの毎日が始まった

そしてヘレナの子宮には新たな命が……

ママと一緒に  
ねんねしような

グイ

モニョッ

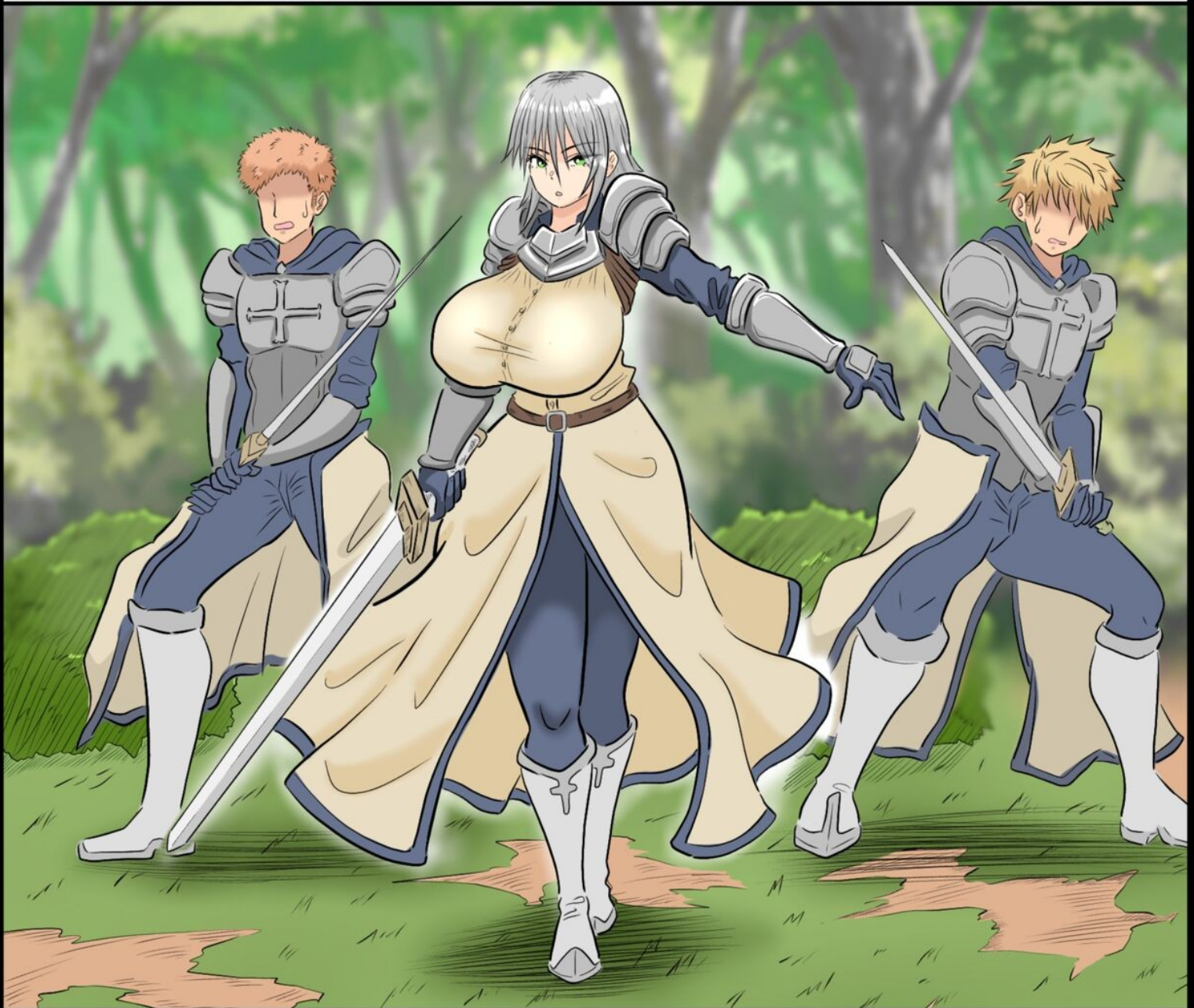
グイッ

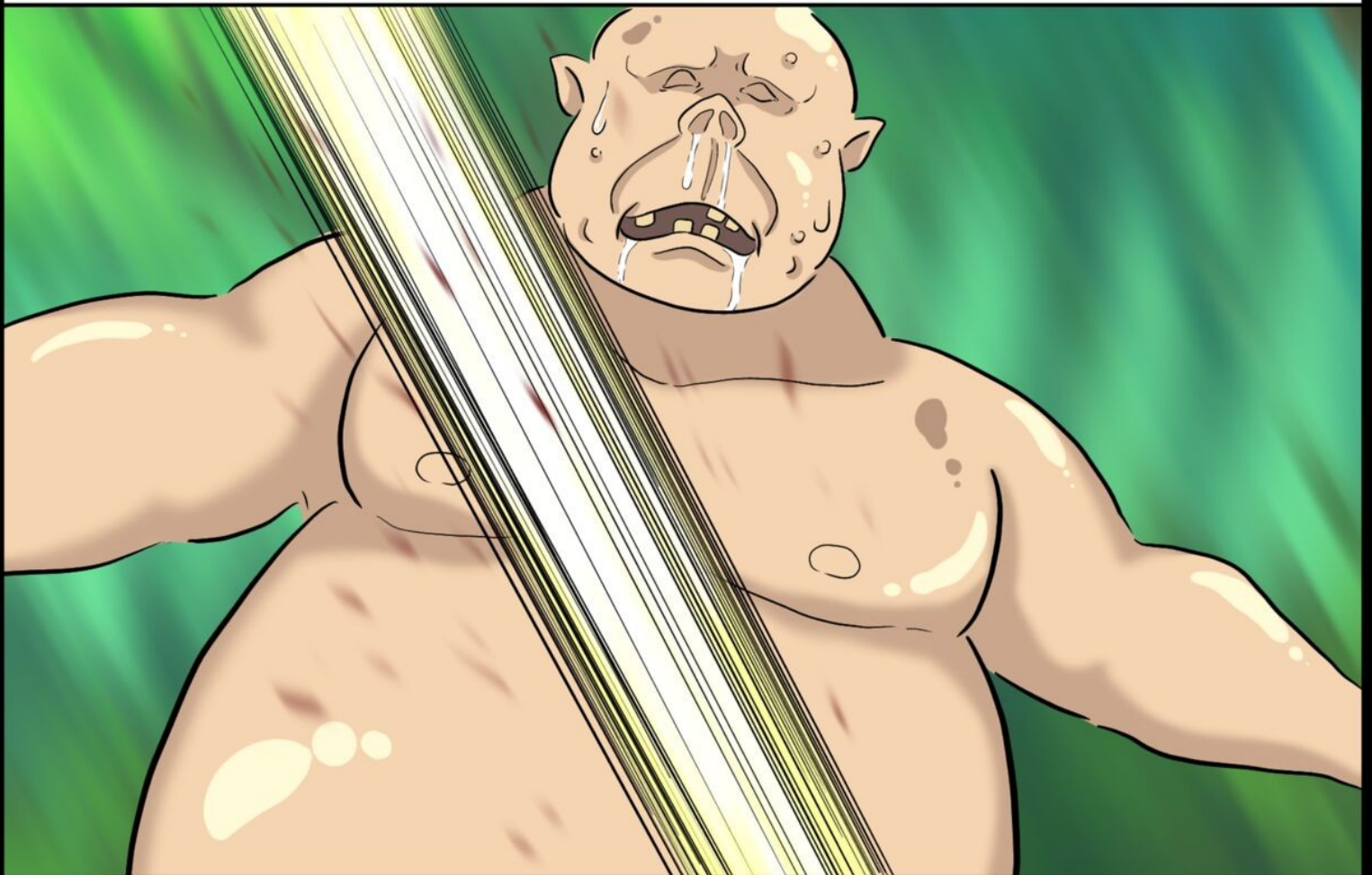
グイッ

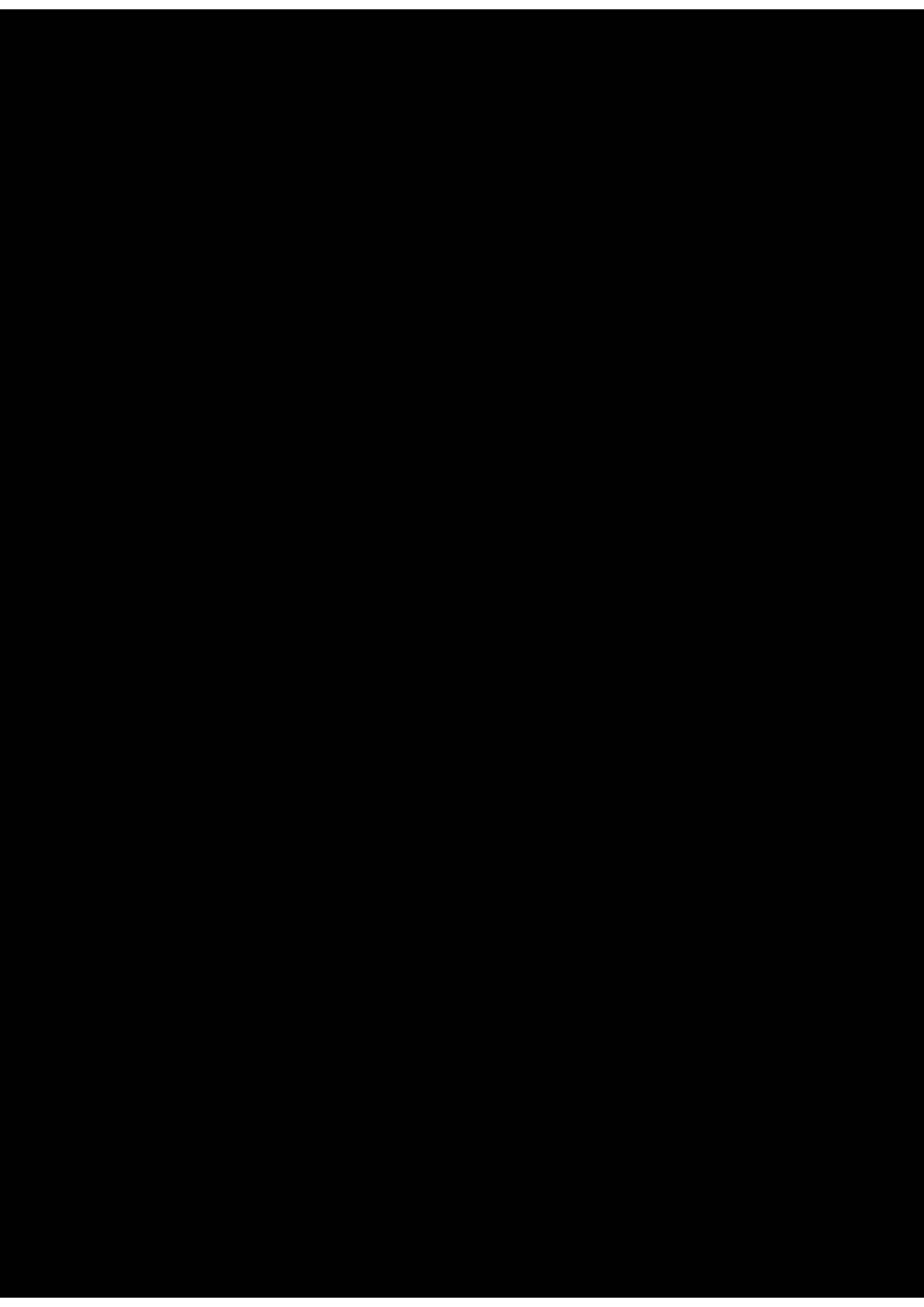
グイ

グイッ

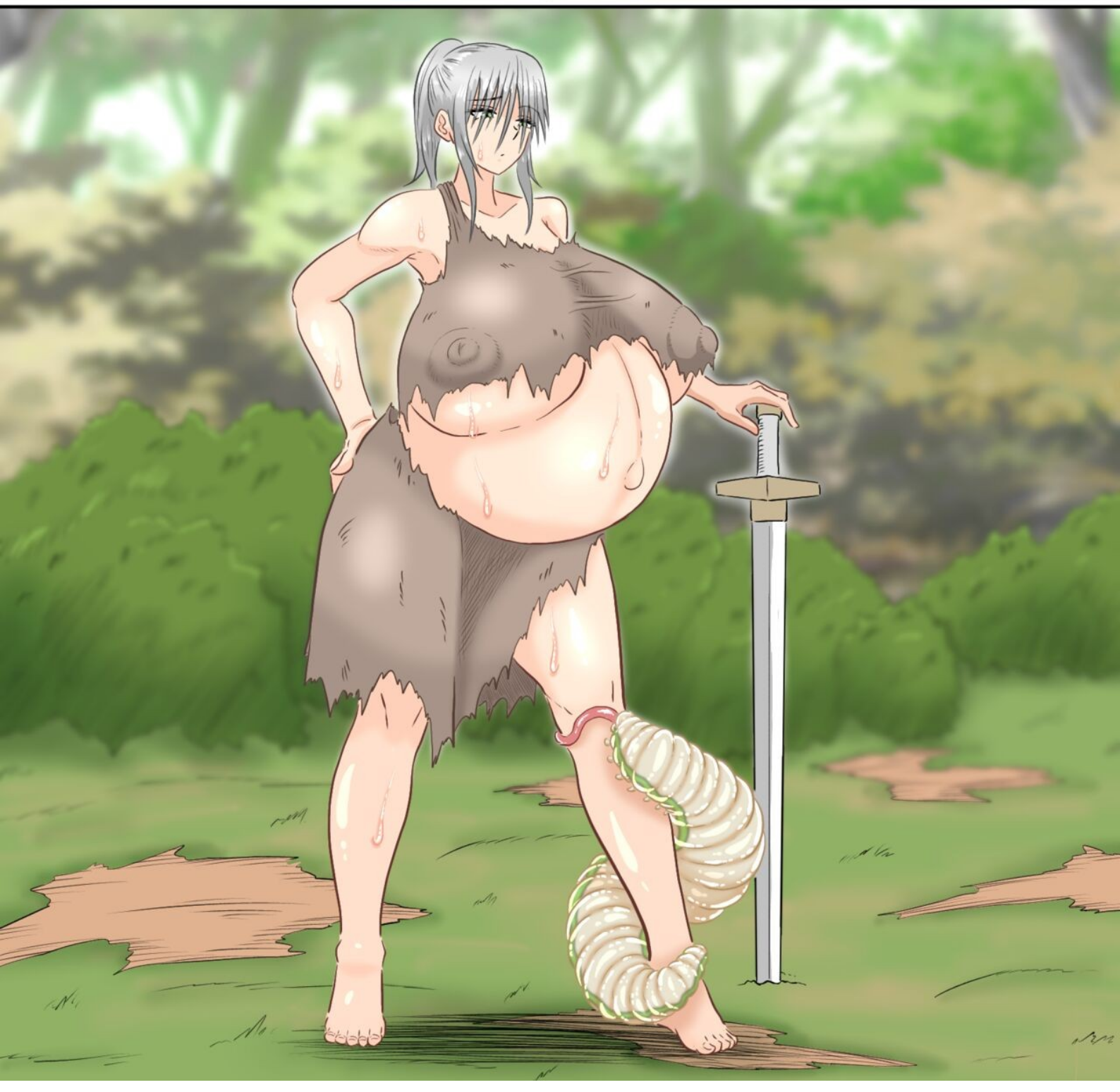
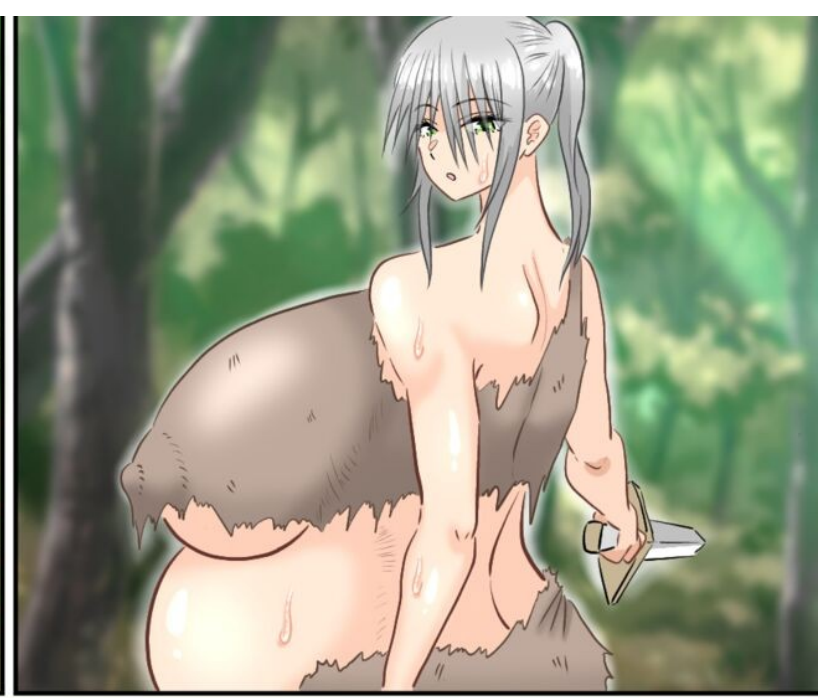
グイッ







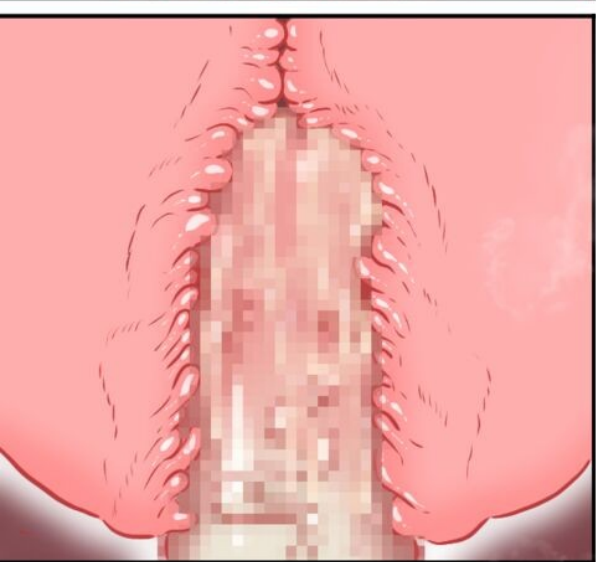






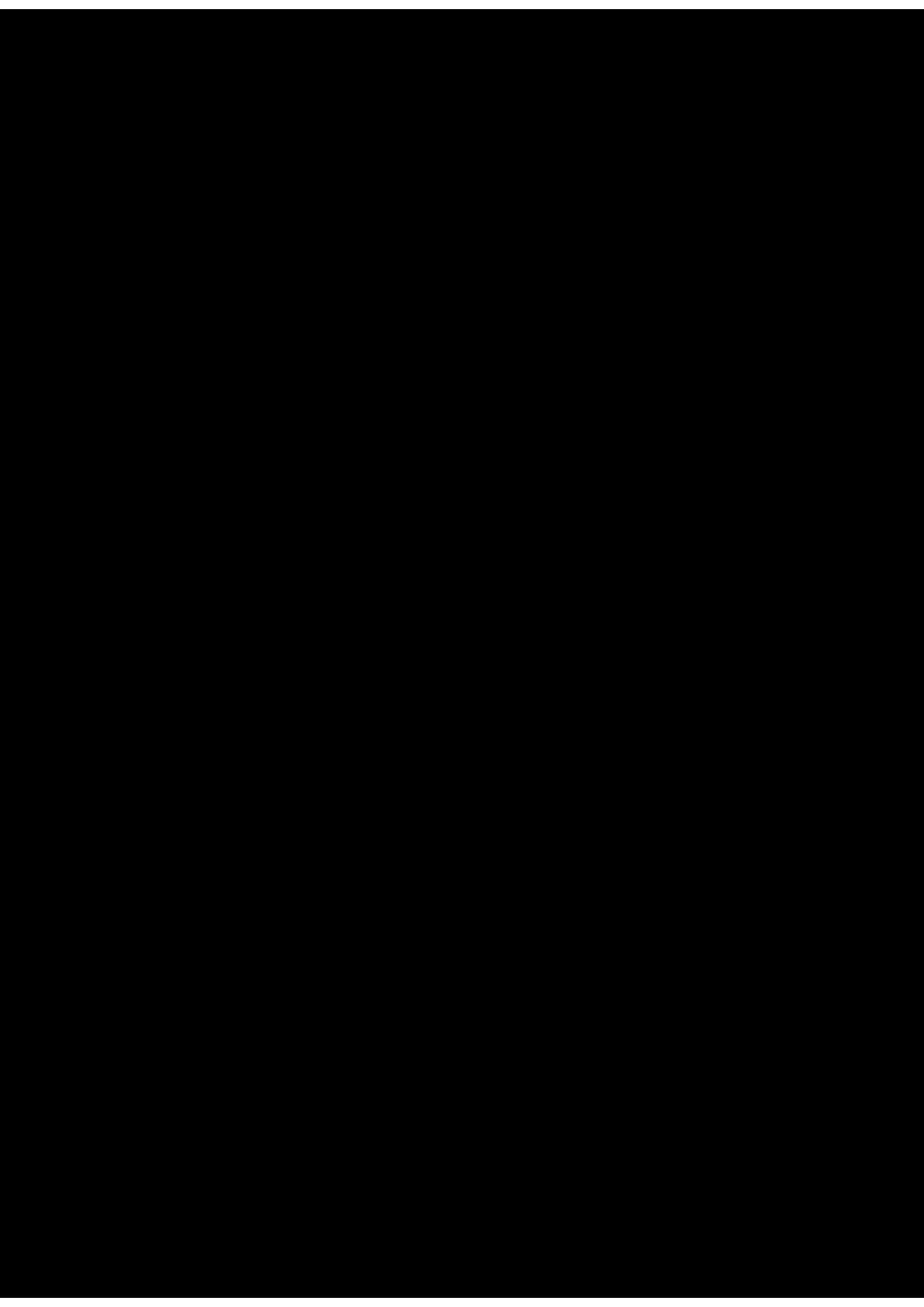


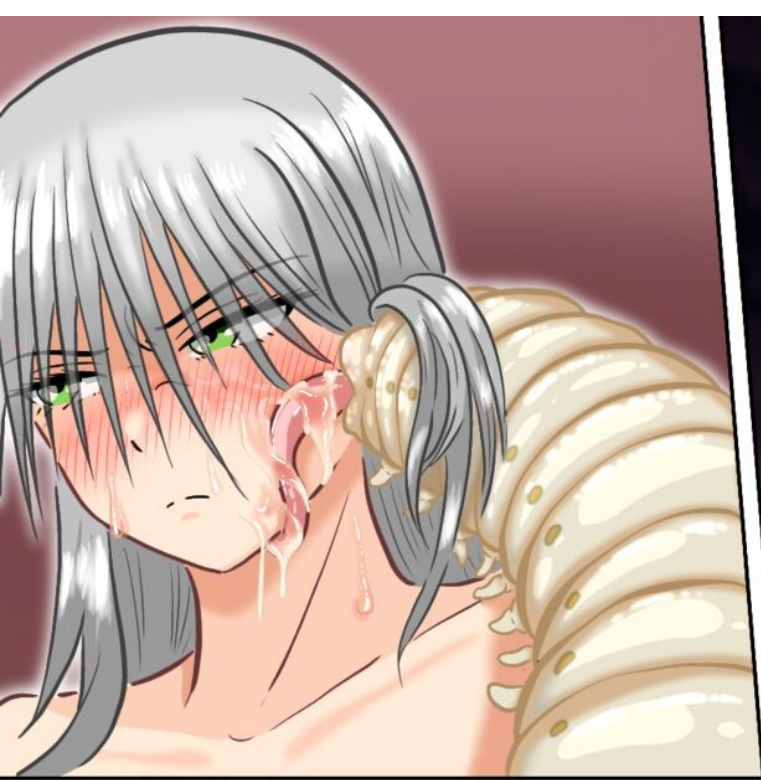


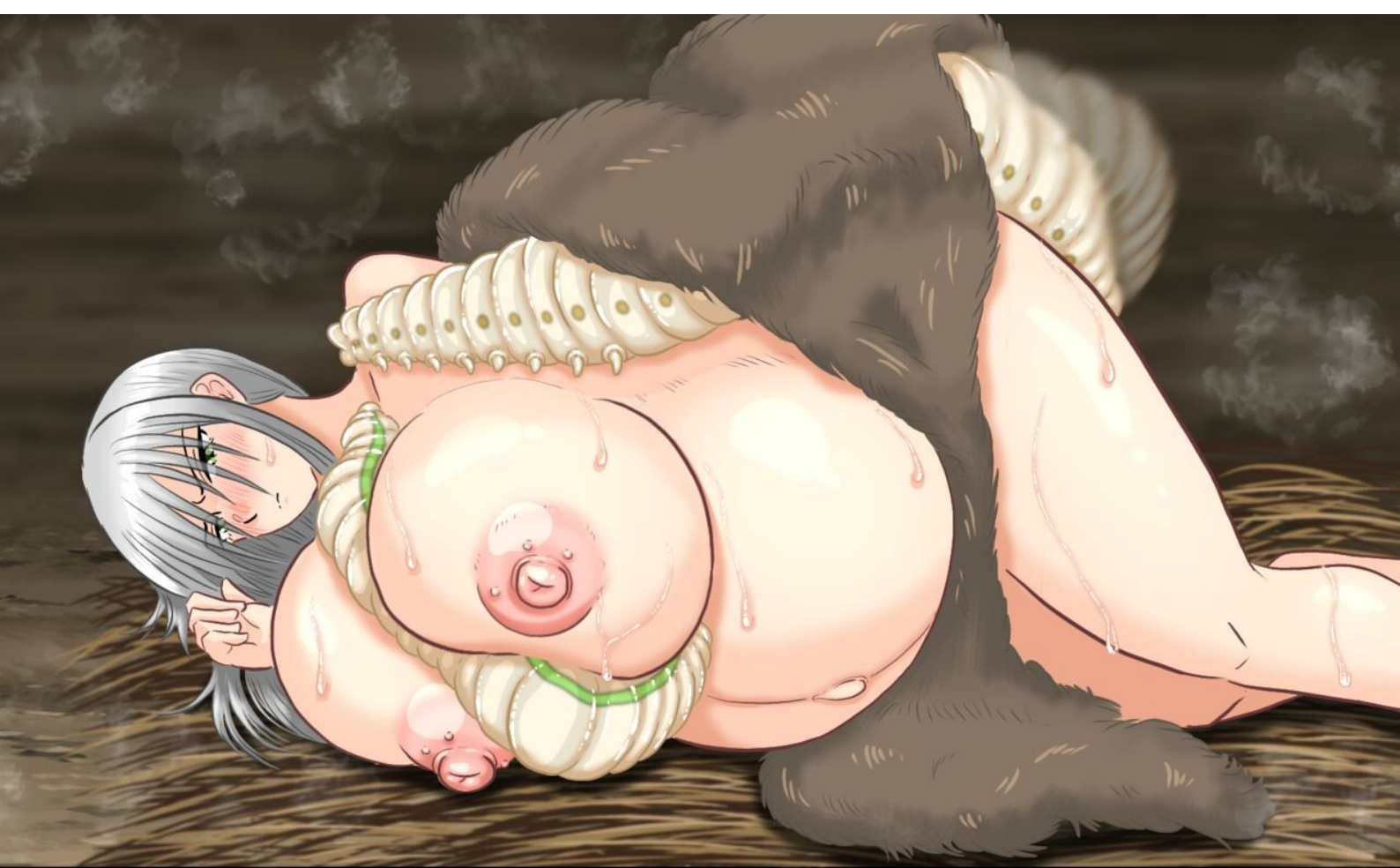




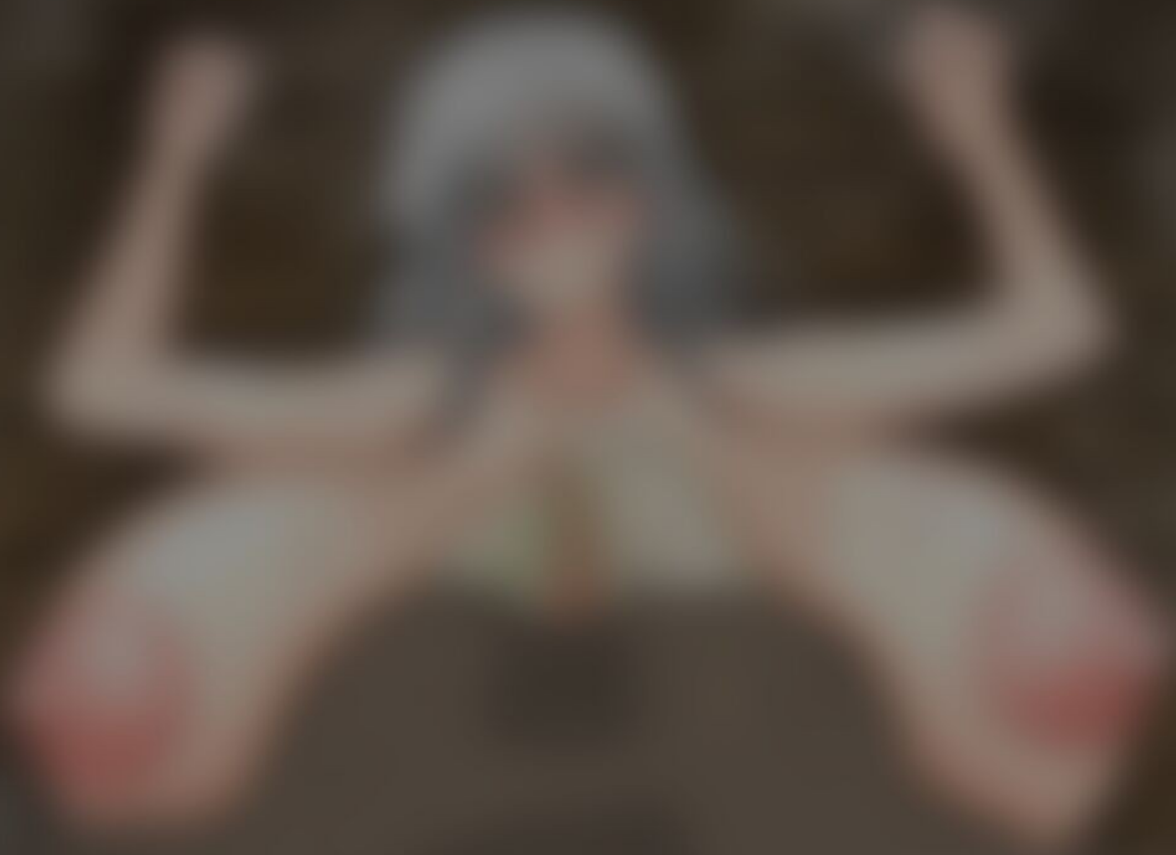




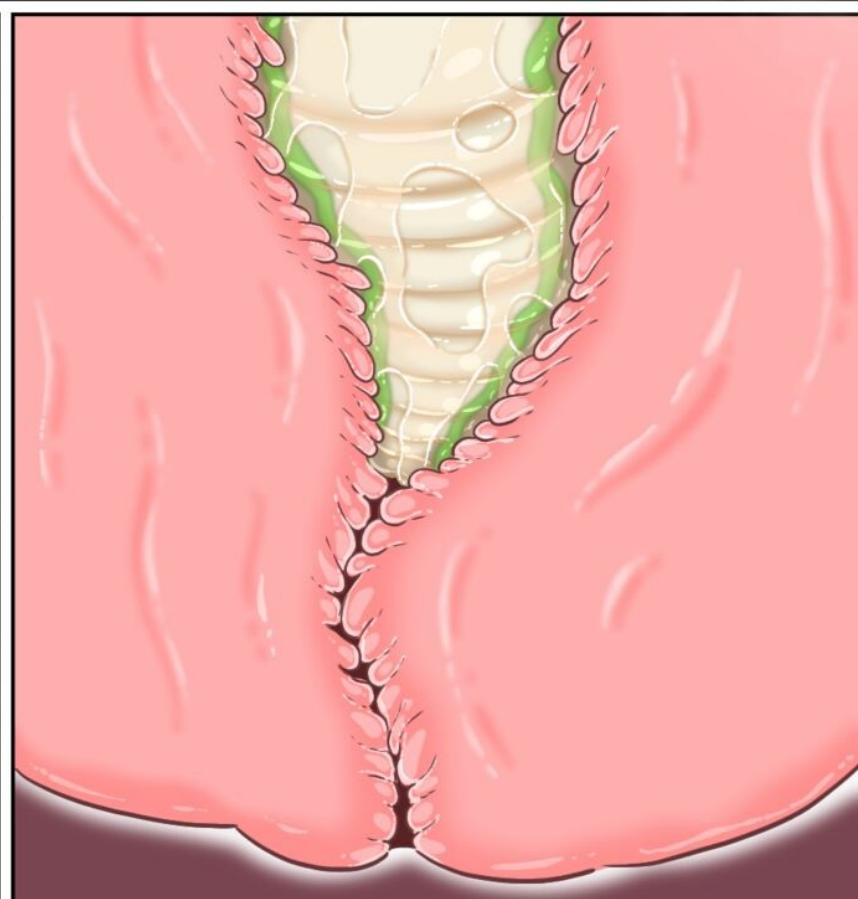


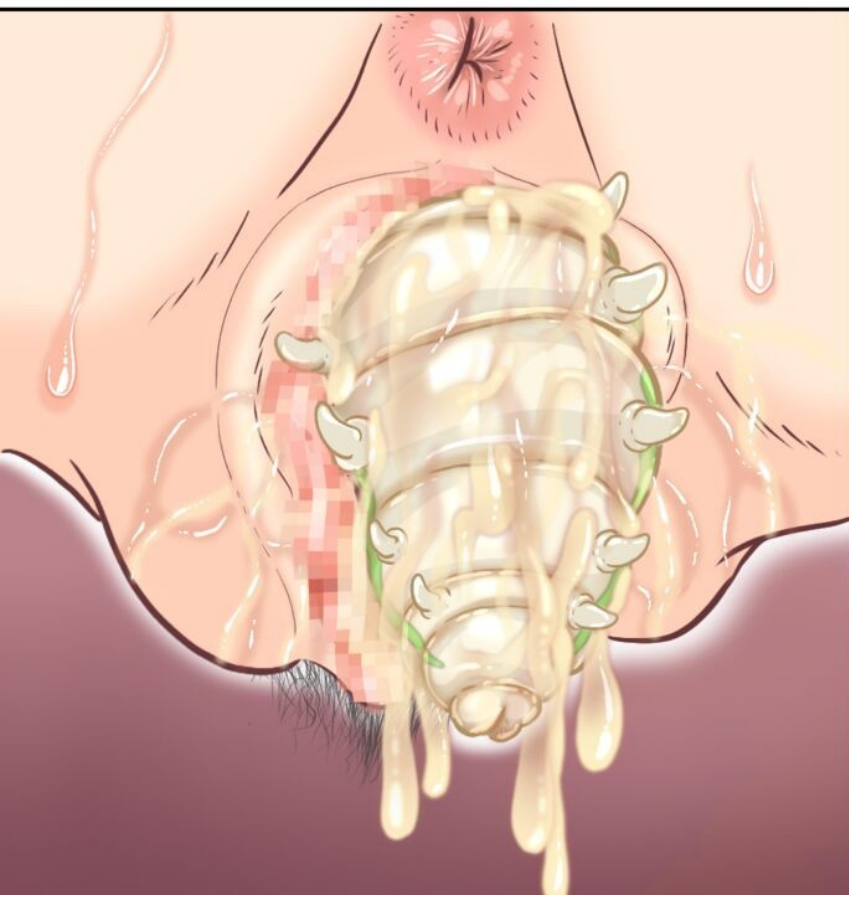










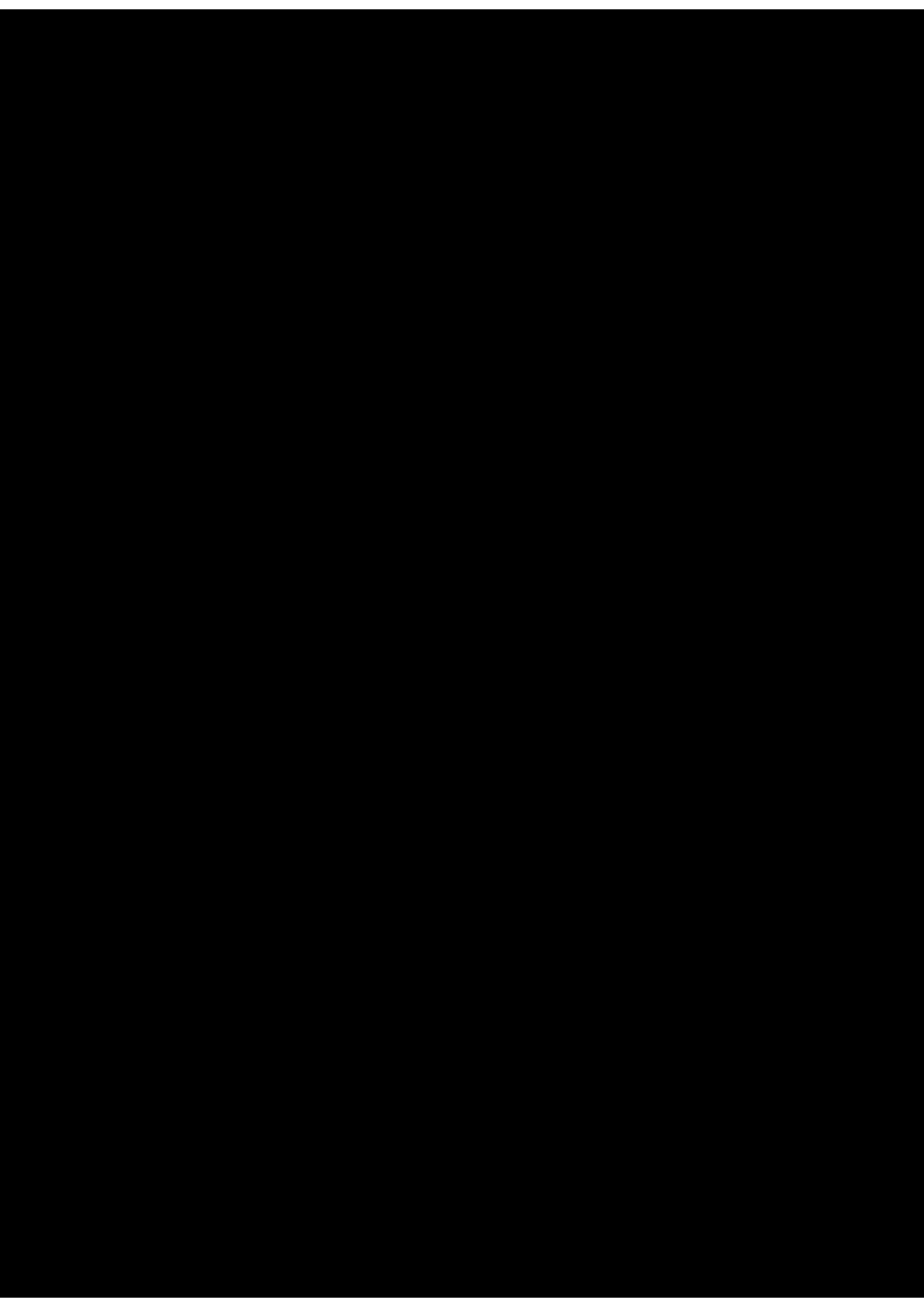


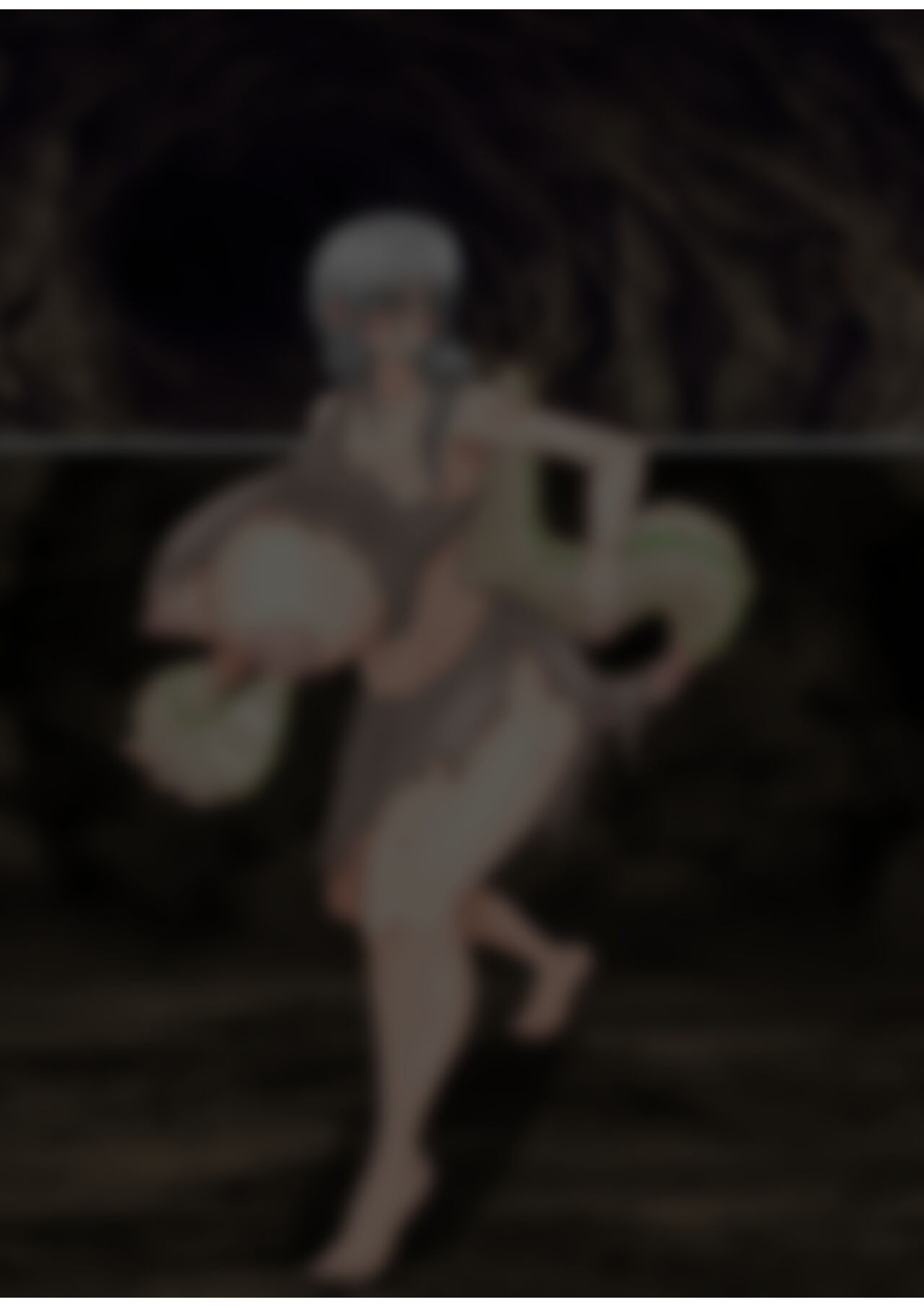




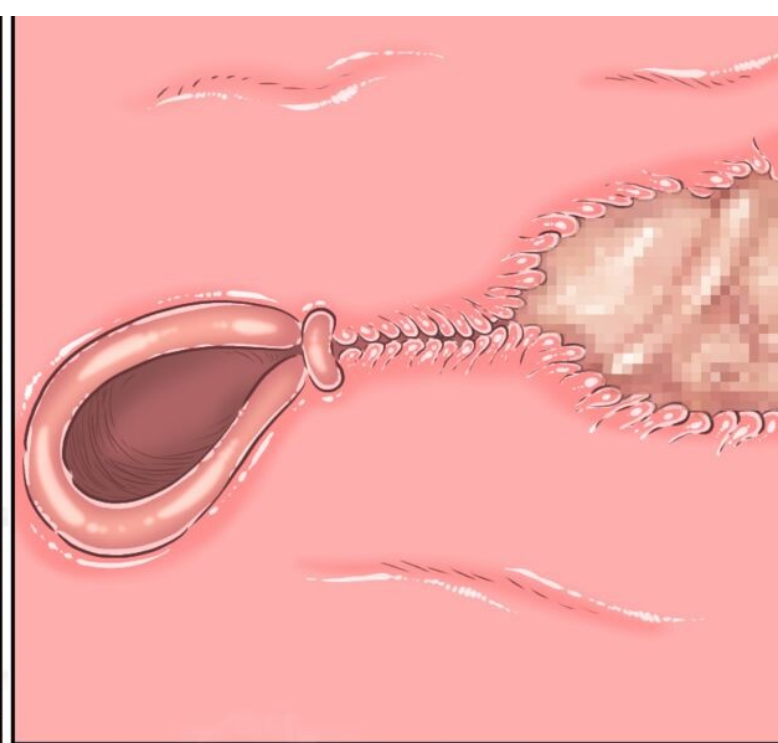


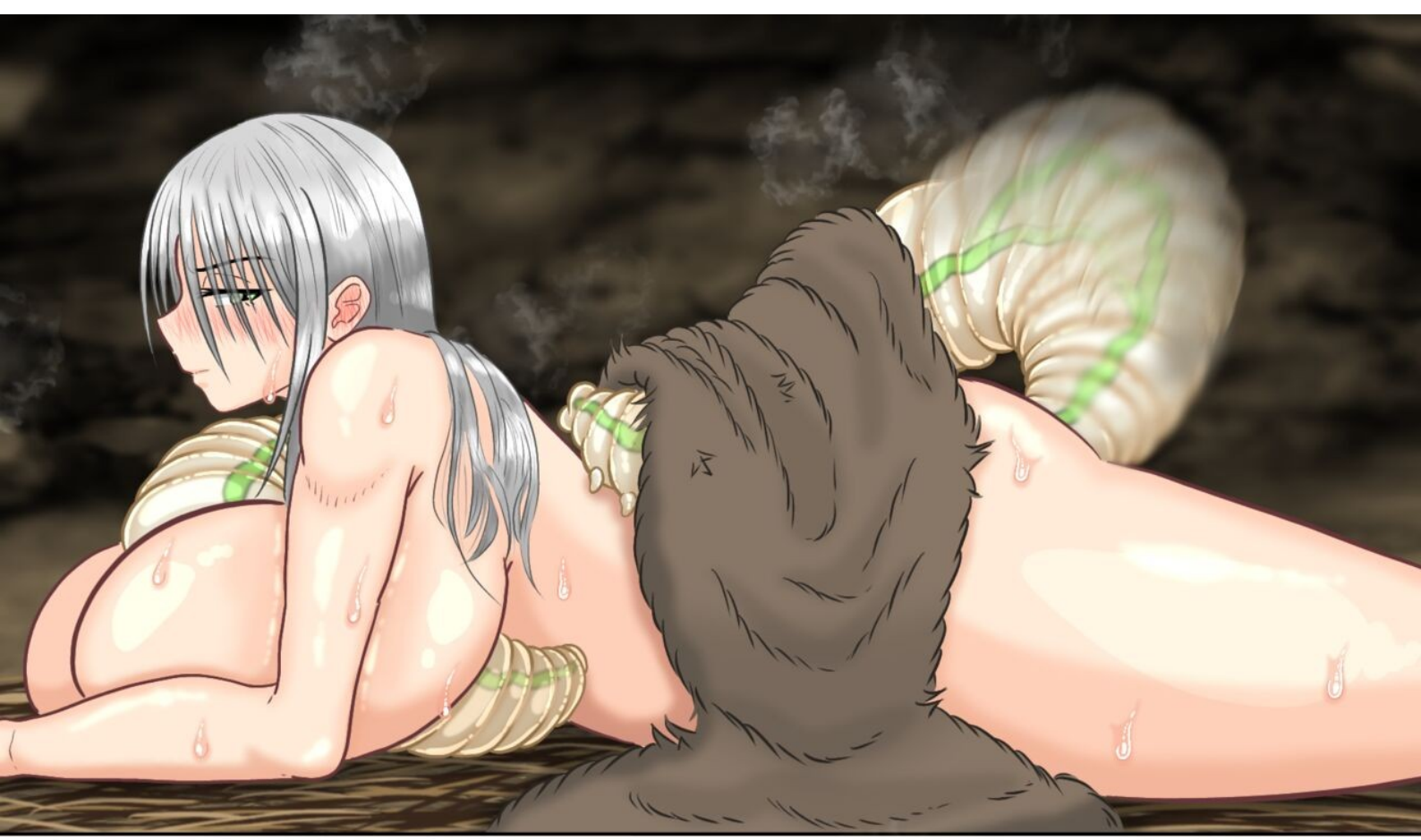














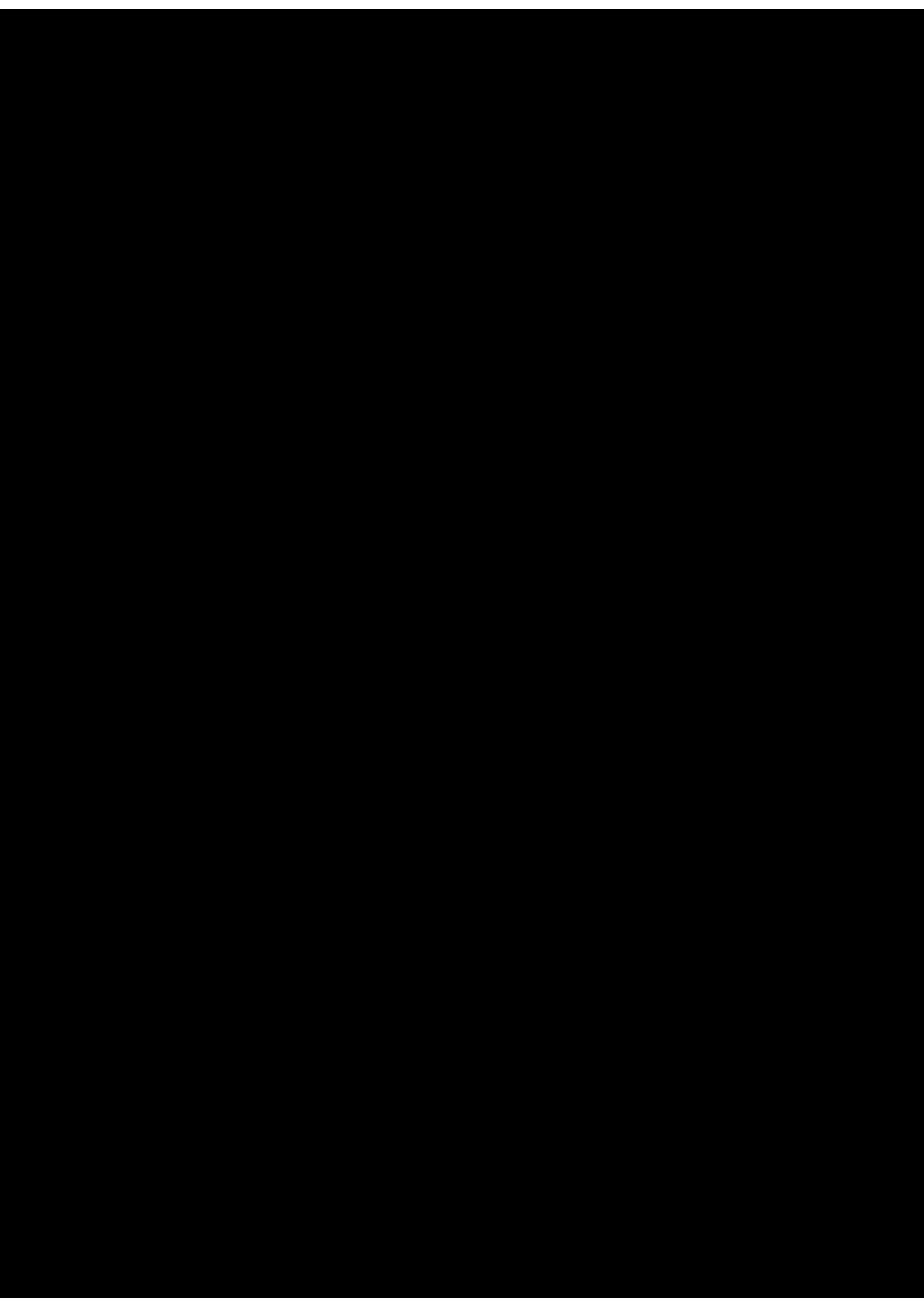








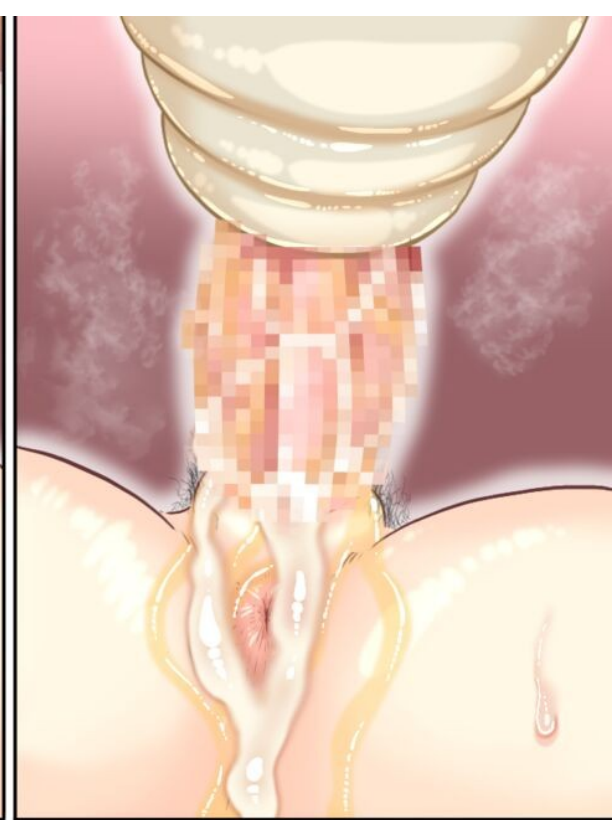
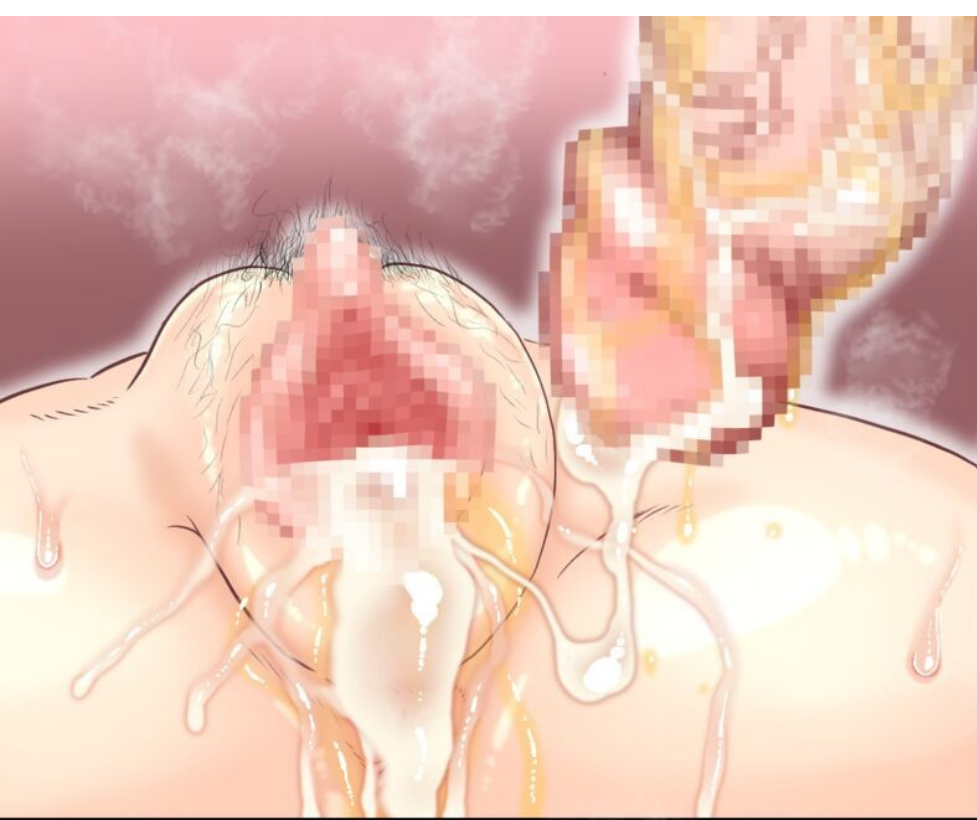




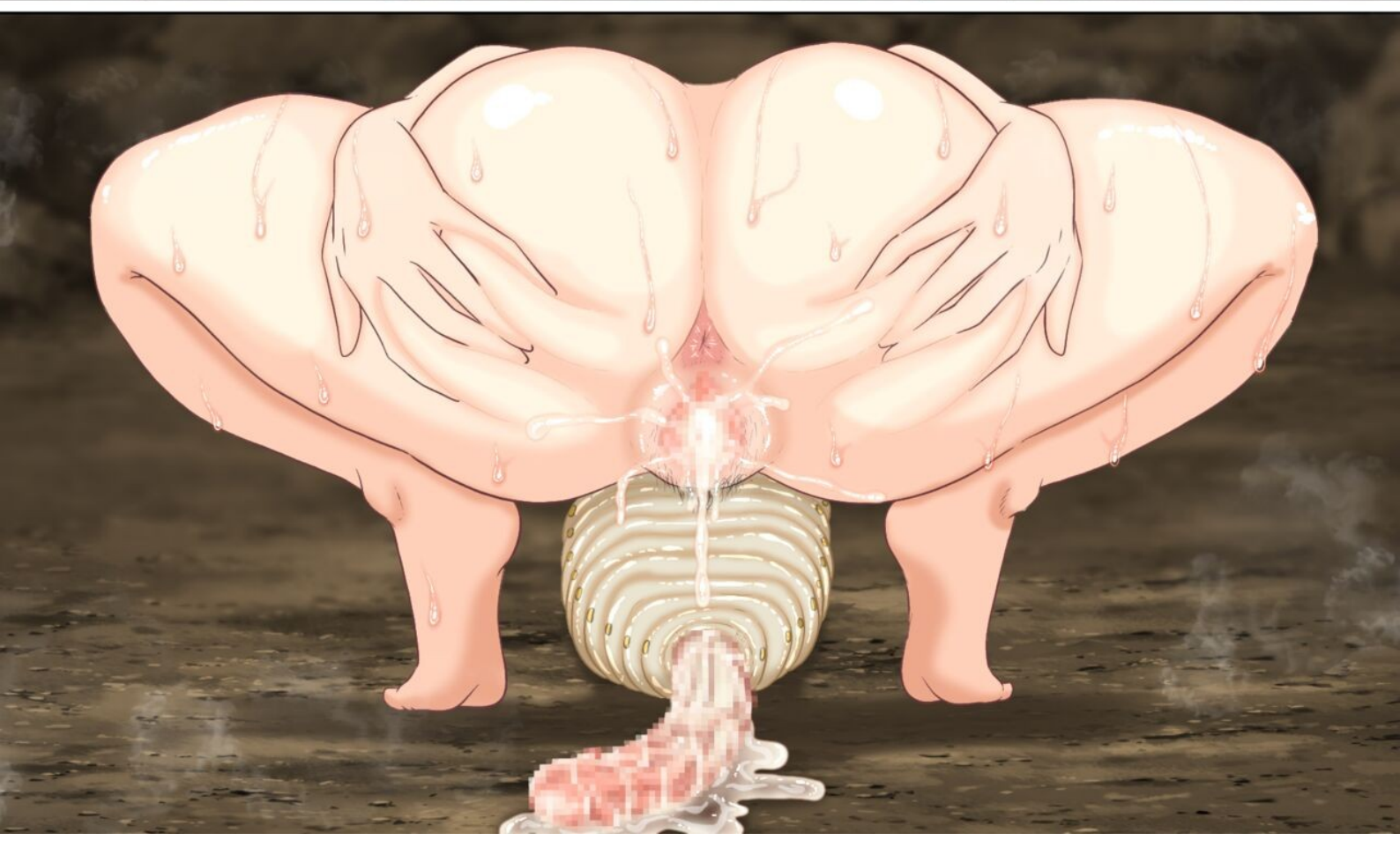


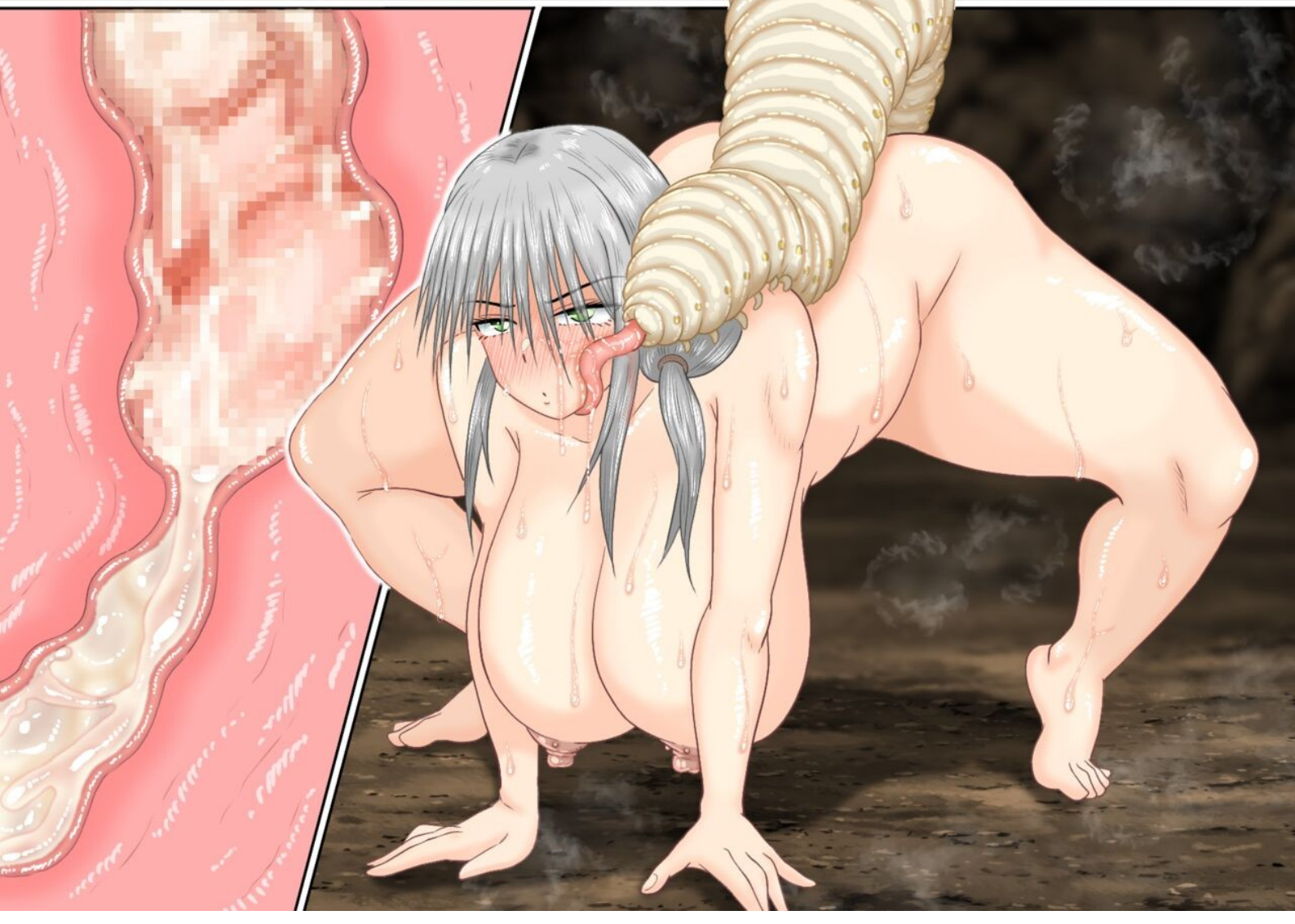




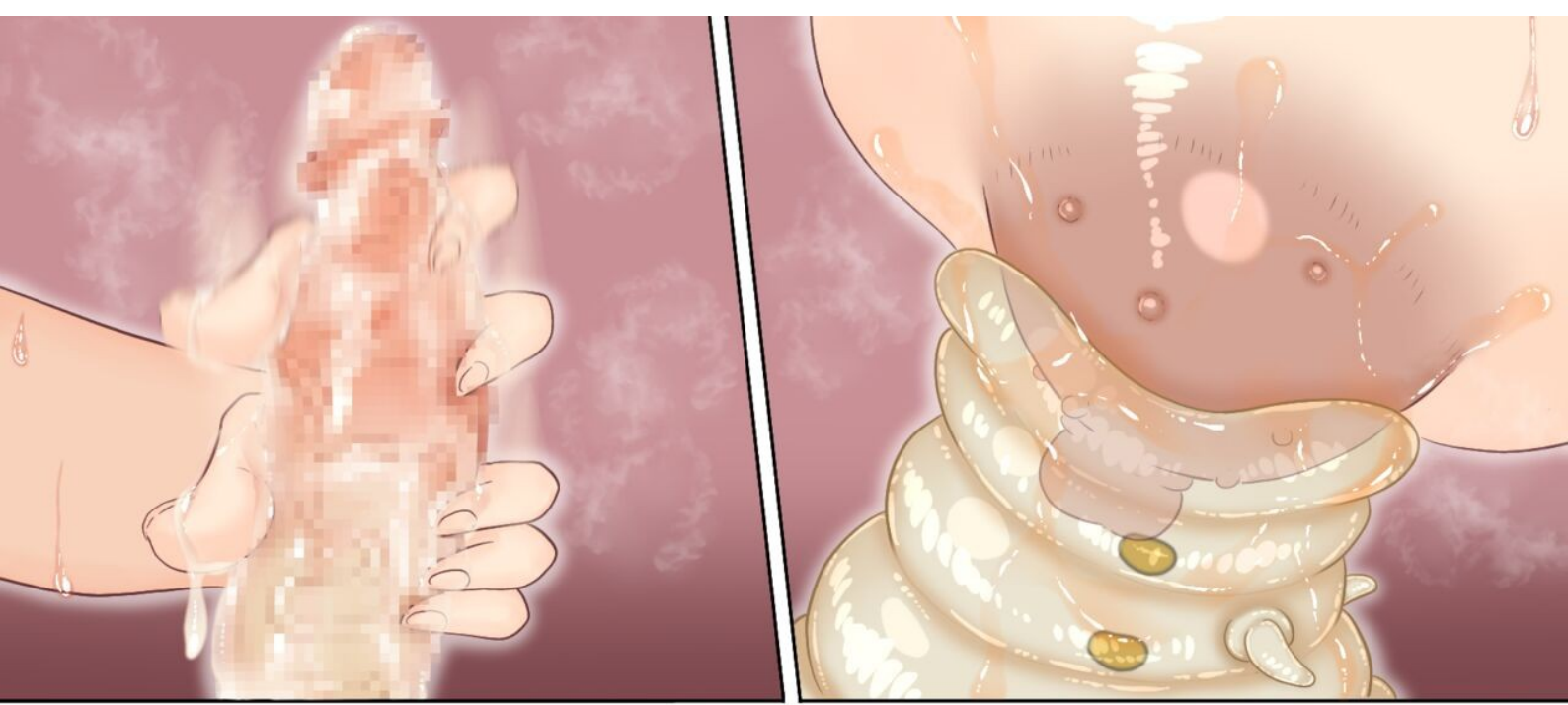




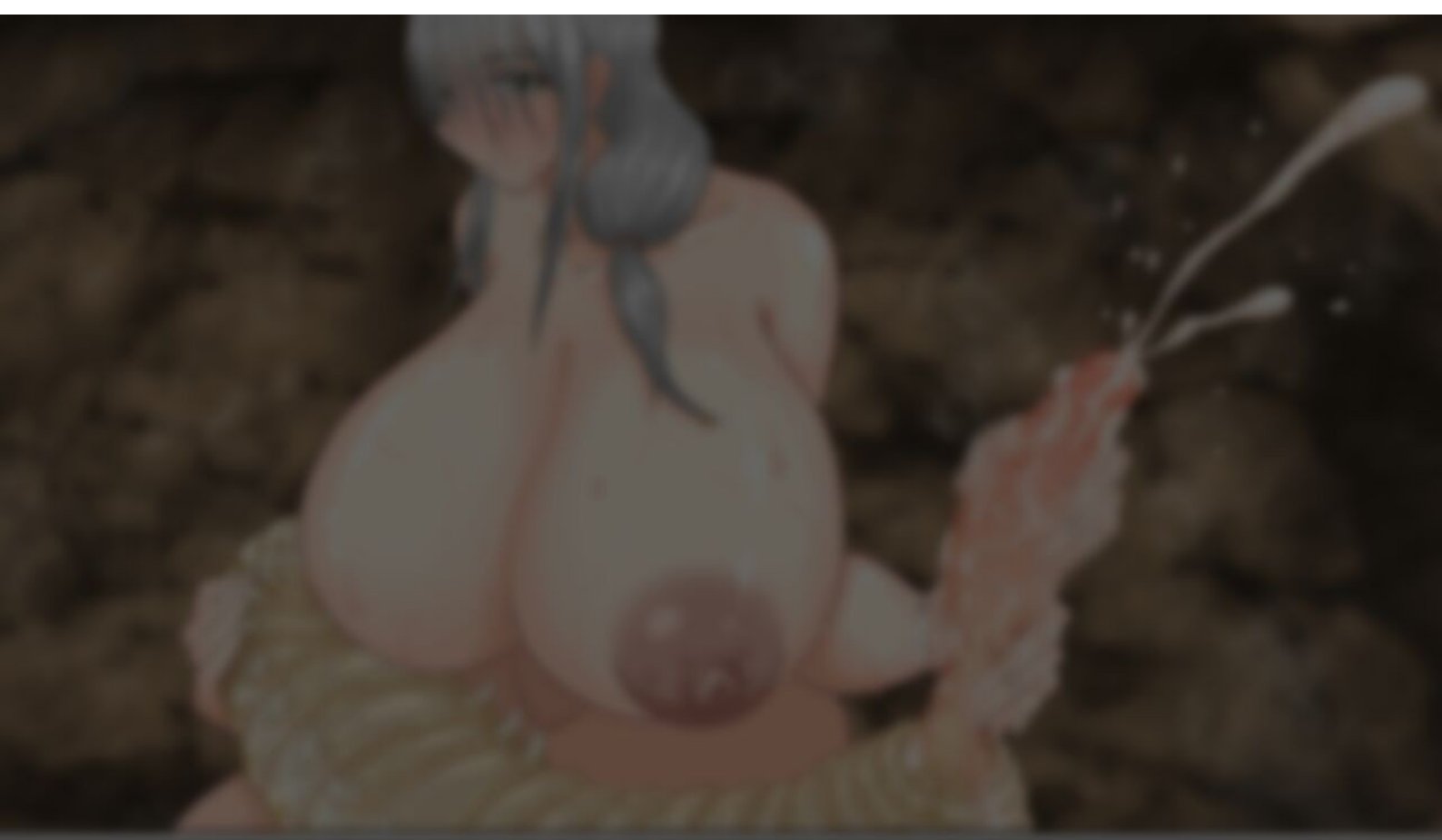


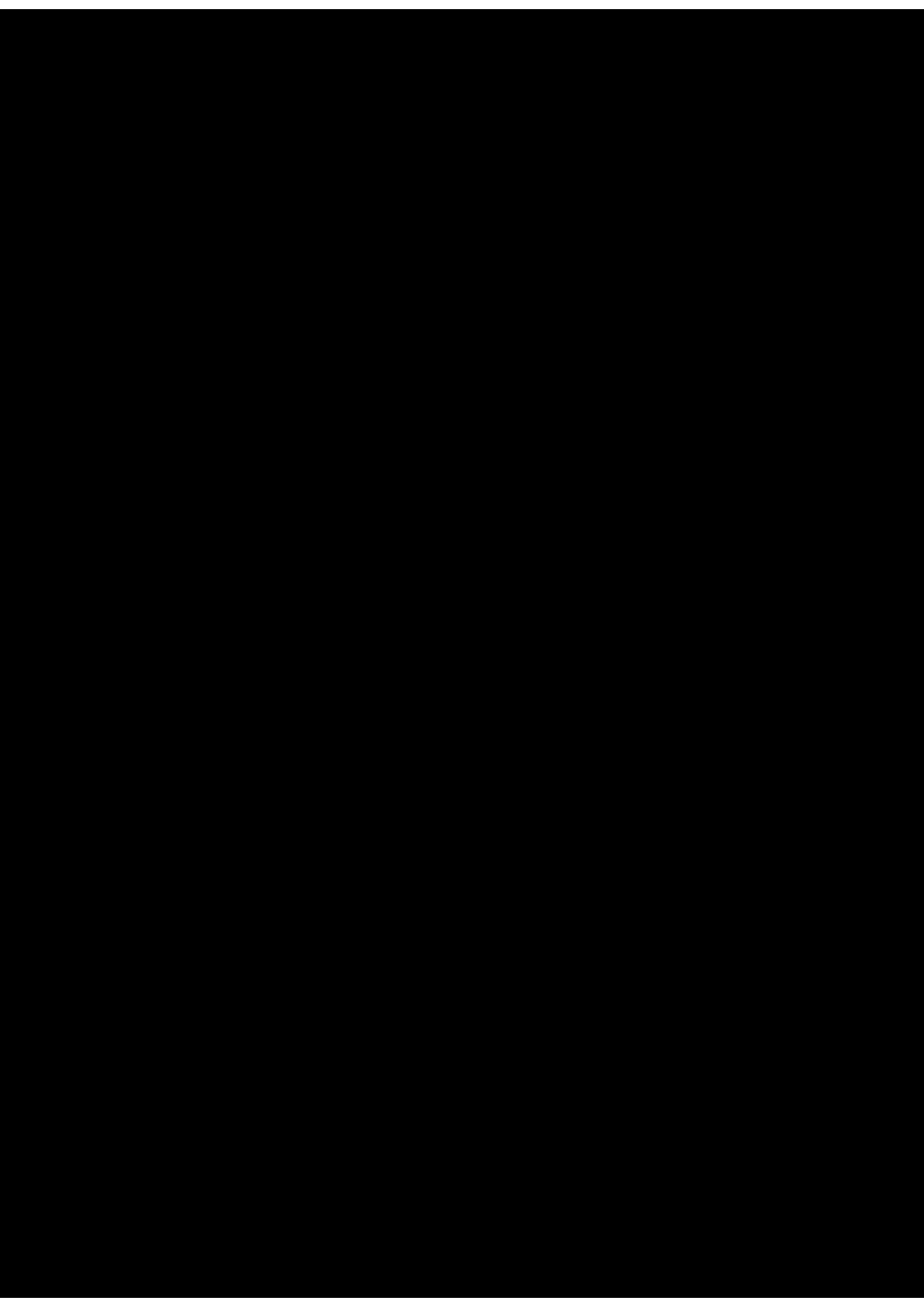


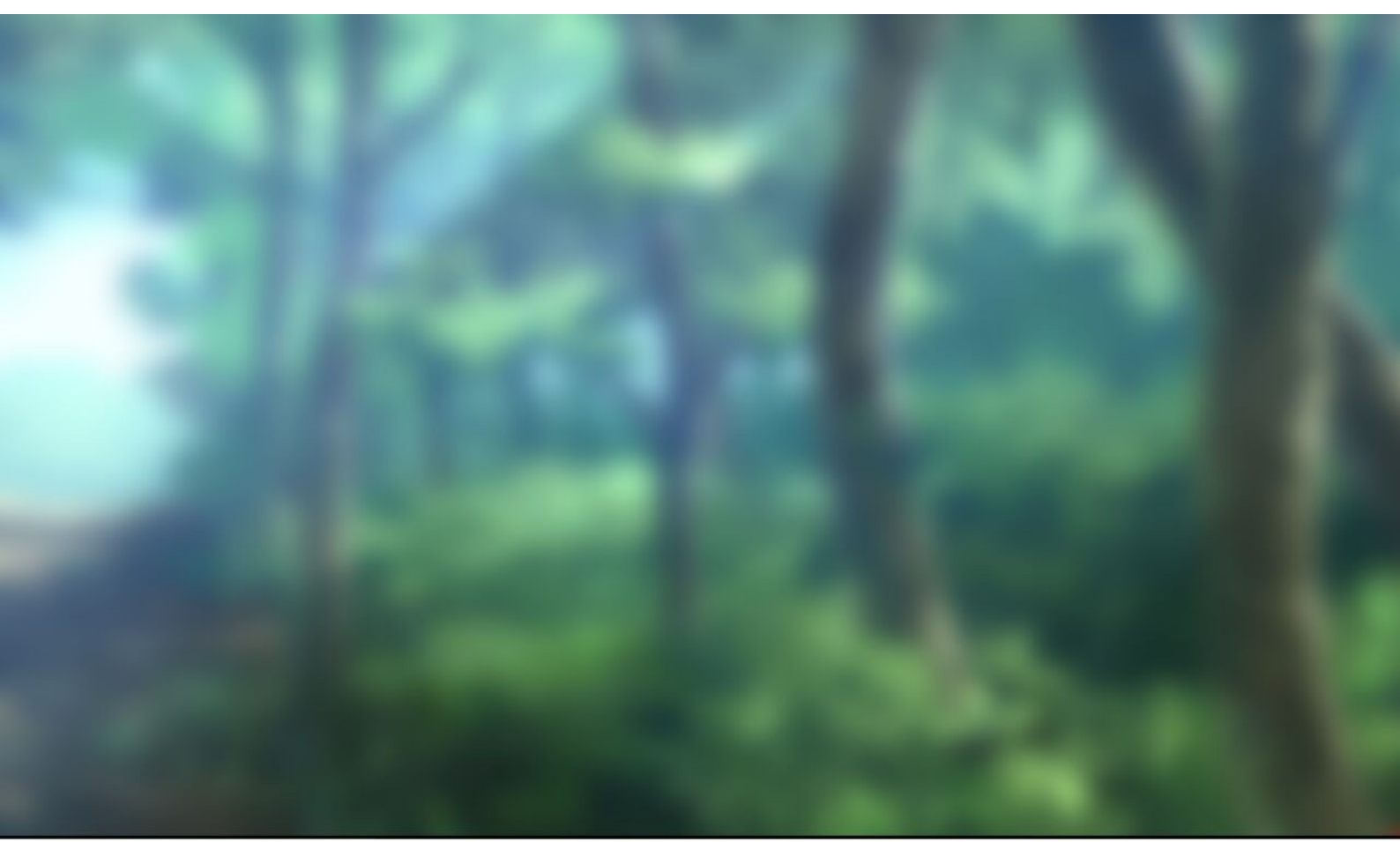


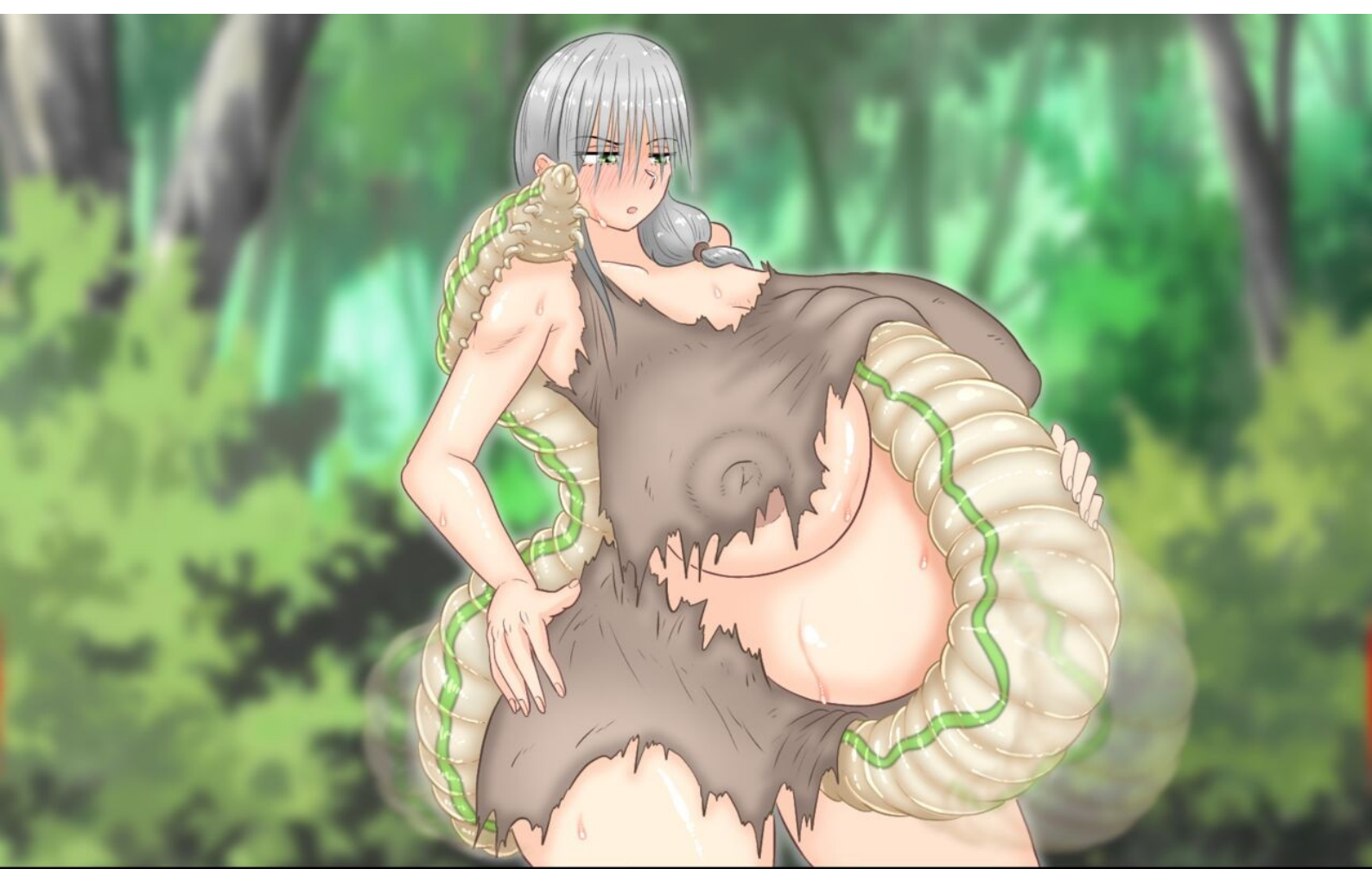










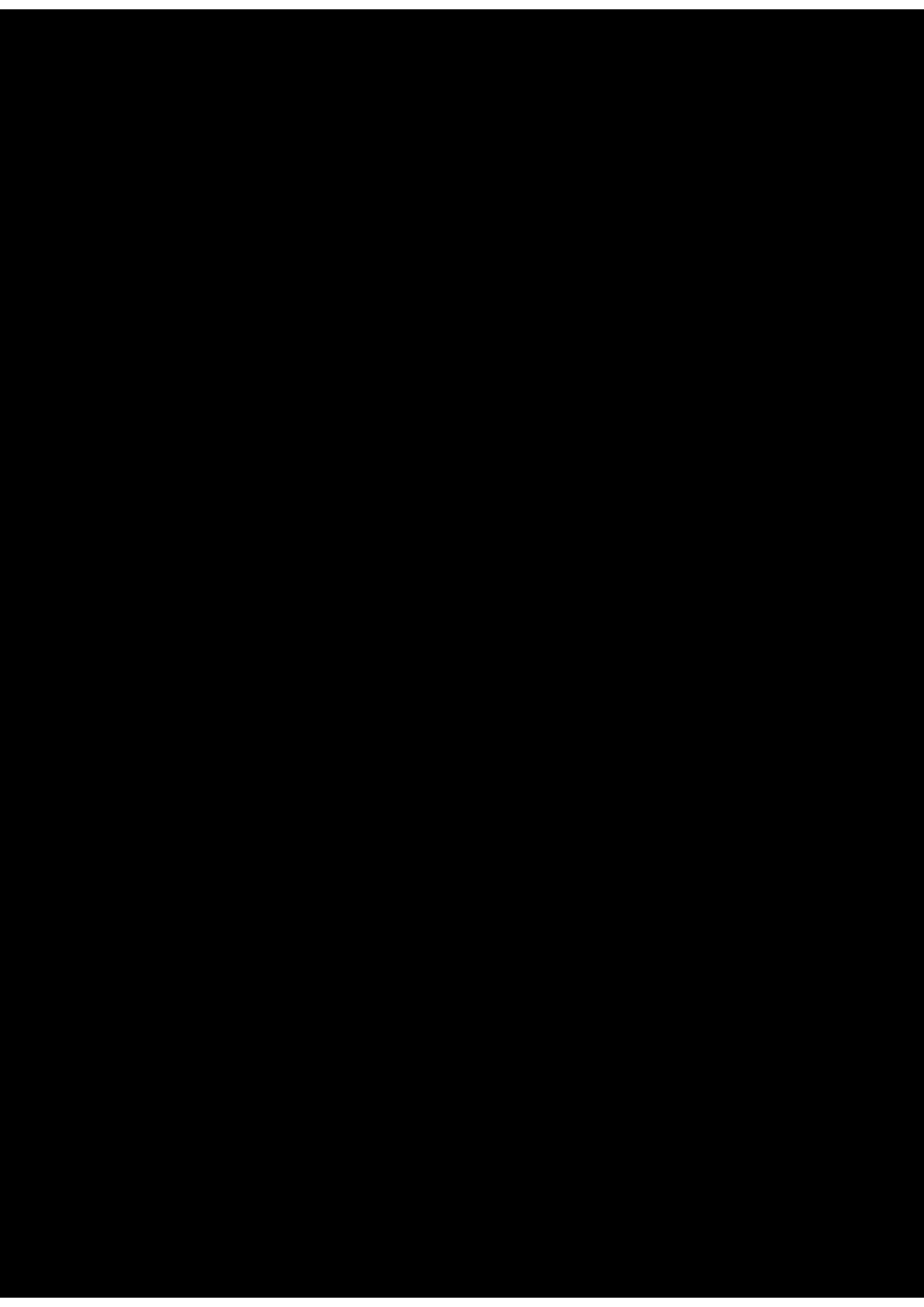


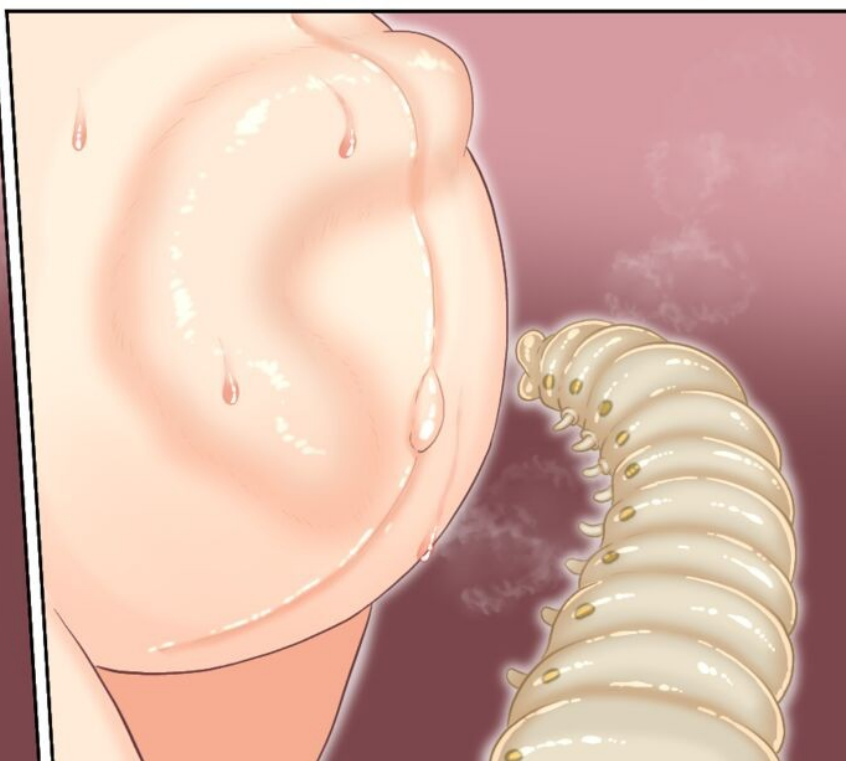


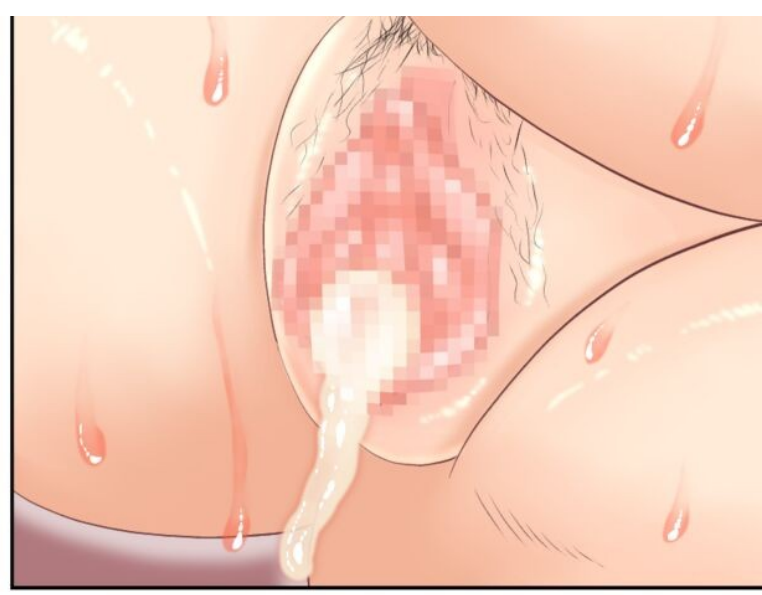




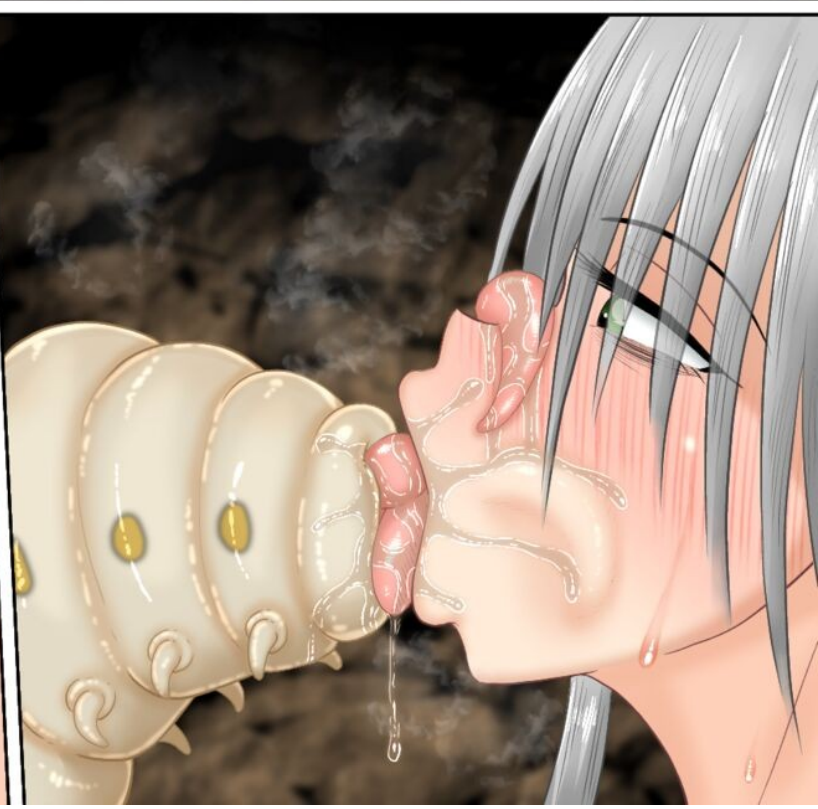


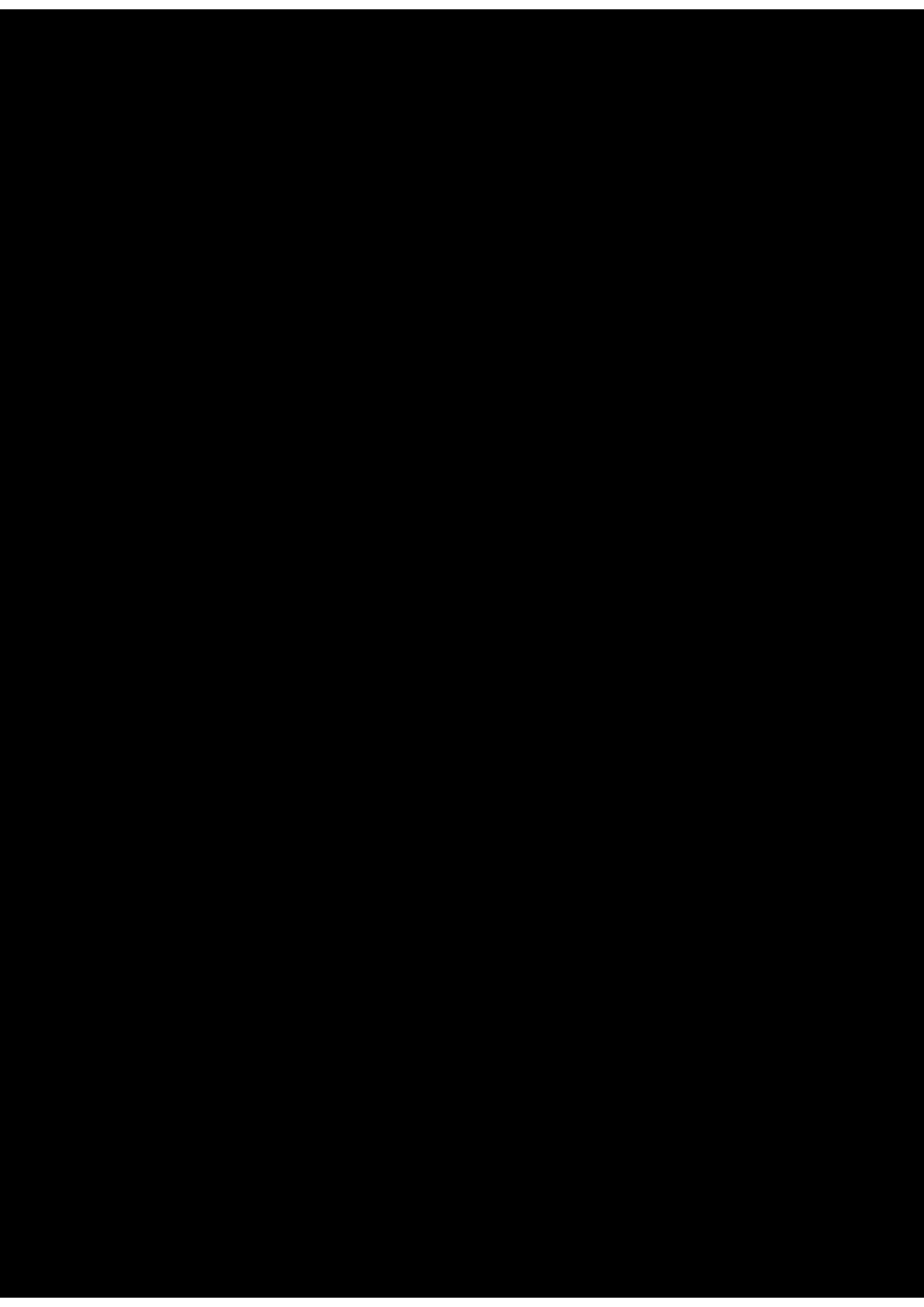


















ご購入いただきありがとうございます

女騎士ちゃん続編を描きました  
描くの遅くて本当に申し訳ありません…

今後毎年1作品は新作描くつもりなので  
引き続き応援よろしくお願い致します!

